

津市上下水道庁舎来庁者駐車場整備工事

藤川設計株式会社

番号	図面名	番号	図面名	番号	図面名
＜建築図＞		A-11	改修後玄関ポーチ廻り平面詳細図	＜電気設備図＞	
A-01	特記仕様書（１）	A-12	改修前玄関ポーチ断面図	E-01	１階電気設備図
A-02	特記仕様書（２）	A-13	改修後玄関ポーチ断面図	E-02	玄関ポーチ廻り照明設備平面図
A-03	特記仕様書（３）	A-14	車いす駐車場・通路上屋断面図		
A-04	特記仕様書（４）	A-15	通路上屋断面図	＜機械設備図＞	
A-05	配置図・附近見取図	A-16	車いす駐車场上屋詳細図	M-01	排水設備 玄関ポーチ廻り平面詳細図
A-06	仕上概要	A-17	通路上屋詳細図		
A-07	１階平面図	A-18	基礎伏図・基礎詳細図		
A-08	２階平面図	A-19	外構平面図		
A-09	立面図	A-20	仮設計画図		
A-10	改修前玄関ポーチ廻り平面詳細図				

Ⅰ. 工 事 名

津市上下水道庁舎来庁者駐車場整備工事

Ⅱ. 工事概要

1. 工事場所

三重県津市殿村5番地

2. 敷地面積

18,277.65㎡

3. 工事内容

棟名称

車いす駐車場上屋及び通路上屋

構 造

アルミニウム合金造平家建て

建築面積

37.07㎡

延べ面積

58.21㎡

工事項目

新築・外構

Ⅲ. 建築工事仕様

1. 共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、公共建築工事標準仕様書（「建築工事編」平成31年版）（以下「標準仕様書」）及び公共建築改修工事標準仕様書（「建築工事編」平成31年版）による。

2. 特記仕様

1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。

3) 項目に記載の（ ）内番号は標準仕様書の当該項目、図又は表を示す。

章	項 目	特 記 事 項
① 一般 共通 事項	①適用基準等	本特記事項に個別に記載の適用基準に加え、以下の基準等を適用する。 <div>1) 建築工事標準詳細図 国土交通省大臣官庁官庁営繕部整備課監修（平成28年版）</div> <div>2) 建築物解体工事共通仕様書 国土交通省大臣官庁官庁営繕部整備課監修（平成31年版）</div> <div>3) 津市公共建築物等木材利用方針</div>
	②施工条件	施工方法及び検査に関する事項 ※ 工事契約後、速やかに調査及び施工計画書を作成し、現場着手までに市監督員の承諾を得ること。 ※ 工事中の安全計画・消防計画等は、市監督員と十分協議し災害防止に努めること。 ※ 本工事における諸官庁への届出、手続き及び書類等は、速やかに提出し工事の遂行に影響の無いよう努めること。 ※ 特定作業に伴って発生する騒音は、低振動・低騒音に努め騒音規制法に基づき関係機関への届出・打合せの上、作業に着手する事とし又、周辺住民からの苦情があった時は、工事を一時中断し、誠意をもって地元調整を行い、工事の再開は市監督員の承認を得てから行うこと。 ※ 工事期間中、近隣関係者等へ危害を与えないよう注意し、かつ周道路等に資材を落下させたり、ほこり等を飛散させないように万全の注意を払うこと。 ※ 場外退出時、車両足廻りの洗浄等を行い、汚損等しないようにすること。 ※ 工事車両の出入りについては、安全確保に十分配慮すること。 ※ 開庁時に作業を行う場合は誘導員を配置し、通行人及び敷地周辺の安全に十分配慮すること。 ※ 工事車両及び工事関係車両は、周辺道路に駐車しないこと。 ※ 工事着手前には、現況把握のために、破損箇所等があれば、市監督員立合いのもと写真に記録しておくこと。 ※ 工事期間中、工事に起因し、既存施設に破損等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに原状復旧するとともに市監督員に報告書を提出すること。 ※ 設計図書に明記なくとも機能上及び構造上当然必要と認められるもの並びに、取り合いのはつり補修復旧は本工事に含む。なお内訳書の数量は参考とし、当図面を優先する。 ※ 高所等の施工箇所で完成検査時に確認が困難な工事については、足場解体前に市検査課による随時検査（書類を含む）を受けること。また、当該検査の合格をもって足場解体を行うこと。

③発生材の
処理等
(1.3.11)

・本工事は、その施工に特定建設資材を使用する新築工事等であつて、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月31日法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。）施行令で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。

工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難い場合は、監督員と協議するものとする。

分別解体等の方法

工程	作業の有無	分別解体等の方法
造成等	・有・無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
基礎・基礎ぐい	○有・無	・手作業 ○手作業、機械作業の併用
上部構造部分・外装	・有○無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
屋根	・有○無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
建築設備・内装等	・有○無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
その他 (7.1.7.1.1その他)	○有・無	・手作業 ○手作業、機械作業の併用

○引渡を要するもの ○無 ・ ()
・ 特別管理産業廃棄物 ・有 () 処理方法 ()
・ 石綿含有成形板等解体時の留意点
1. 手ばらし等、出来るだけ粉塵の発生しない方法で行うこと。
2. 可能であれば湿潤状態（散水）として作業を進めること。
3. 飛散させない様にする。こと。
4. 保護具及び作業着を着用すること。
5. 解体されたボード等は、蓋のある容器に入れること。
6. 事前に使用箇所や状況の調査を行い記録すること。
○再資源化を図るもの ○コンクリート塊
○アスファルトコンクリート塊
○建設発生木材

引渡を要するもの、再資源化を図るものについては調書を作成し監督員へ提出すること。

引渡を要するもの以外のものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令によるほか、「建設副産物適正処理推進要綱」に従い適切に処理し、監督員にマニフェストA、B2、D票を提示すること。

受注者は、工事着手前及び工事完了後に「再生資源利用計画書（実施書）」、「再生資源利用促進計画書（実施書）」を監督員に提出することとし、工事着手前にJACICが運営する「建設副産物情報交換システム」へのデータ入力、工事完了時にはシステムへ実績報告を行うこと。

④建設副産物
情報交換
システムの
利用

⑤三重県産業
廃棄物税

6.電気保安
技術者
(1.3.3)

⑦技能士
(1.5.2)

・ 配置する

職種別に可能なものについては積極的に活用のこと

⑧建築材料
等

9.化学物質の
濃度測定
(1.5.9)

測定対象化学物質（●で示したものとする。）

適用	施設用途	ホルムアルデヒド	トルエン	キシレン	エチルベンゼン	スチレン	パラジクロロベンゼン
	学校・教育施設	●	●	●	●	●	●
	住宅	●	●	●	●	●	
	その他	●	●	●	●	●	

対象箇所（・図示(図面番号：) ・ ())
測定方法（・パッシブ法 ・アクティブ法 ）
測定時期 ・ ()
報告書提出部数 2部

⑩特別な材料
の工法

⑪騒音・振動
の防止

⑫工事写真
(1.2.4)

⑬完成図等
(1.7.1)
(1.7.2)
(1.7.3)

⑭完成写真

15.設備工事
との取合い

⑯設計GL

⑰養生その他

⑱事故の
発生時

19.消防関係
の手続き

1) 本工事に使用する木材は、津市公共建築物等木材利用方針に基づき、木材の利用に努めること。
2) 本工事に使用する建築材料のホルムアルデヒド放散量等は、F☆☆☆☆以上とする。

測定対象化学物質（●で示したものとする。）

適用	施設用途	ホルムアルデヒド	トルエン	キシレン	エチルベンゼン	スチレン	パラジクロロベンゼン
	学校・教育施設	●	●	●	●	●	●
	住宅	●	●	●	●	●	
	その他	●	●	●	●	●	

対象箇所（・図示(図面番号：) ・ ())
測定方法（・パッシブ法 ・アクティブ法 ）
測定時期 ・ ()
報告書提出部数 2部

標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。

低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程に基づき指定された建設機械の使用に努めること。

営繕工事写真撮影要領（国土交通省大臣官庁官庁営繕部整備課監修（最新版））に従い撮影する。
提出部数 1部 用紙は上質紙とする。

なお、デジタル工事写真の黒板情報電子化を行う場合は、「デジタル工事写真の黒板情報電子化について（平成29年3月1日付け国営整第211号）」による。

○作成する ○完成図 ○保全に関する資料 ・ ())
○完成図作図範囲（設計図を訂正）
完成図はCADにより作成することとし、著作権（著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む）は発注者に移譲するものとする。また、製本2部（原図サイズ）により提出すること。

○デジタルカメラで撮影し、全てL版相当サイズで印刷する。
（A4版用紙に1ページあたり3枚） 1部
箇所数は外観4面各室2面程度とし、規定の箇所数が確保できない場合や枚数が多くなる場合には、監督員と協議すること。
写真は、着工前・施工中・完成を同一場所から、黒板なしで撮影すること。

施工範囲
・図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の補強
・図示した壁、天井の仕上材、下地材の切り込み及び補強
・駆動装置又は電動建具等の2次側配管配線及び操作スイッチ

施工図
・設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受けること。

・ 図示のベンチマーク(B.M) mm
(現状地盤はB.M mm)

○現状1FL-500

工事施工に際し既存部分を汚損又は損傷した場合は、構造・仕上げ共、既存にならい補修すること。

工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により事故発生報告書を監督員が指示する期日までに監督員に提出すること。

また、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。

1) 消火器に係る消防法用設備等設置届出書の作成
・本工事（・建築工事 ・電気設備工事 ・機械設備工事）
・別途工事

2) 防火対象物使用開始届出書
書類の作成（建築図面の作成及び建築に関する部分の記入）を行うこと。

⑳労働安全衛生
法に基づく
労働災害防止
措置

㉑不正軽油
の使用の禁止

22.屋外広告物

労働安全衛生法第30条第1項に規定する措置を講ずる必要がある場合、その措置を講ずべき者として、同法第30条第2項の規定に基づき、本工事の受注者を指名する。この場合における指名への同意は、本工事の請負契約を締結することにより得られたものとみなす。

1) 一般事項
市工事の施工にあたり、工事現場で使用し、又は使用させる車両（資機材等の搬出入車両を含む。）並びに建設機械等の燃料として、不正軽油(地方税法第144条の32(製造等の承認を受ける義務等)の規定に違反する燃料をいう。)を使用してはならない。
2) 調査の協力
受注者は、市が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。また受注者は、下請負者等に同調査に協力するよう管理及び監督しなければならない。
3) 是正措置
受注者は、不正軽油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。また、受注者は下請負者等に不正軽油の使用が判明した場合は速やかに是正措置を講じるよう管理及び監督しなければならない。

屋外広告物を設置する場合は「三重県屋外広告物条例」第23条に規定する屋外広告業の登録事業者であること。

工事名称
★津市上下水道庁舎来庁者駐車場整備工事

図面名称
★特記仕様書（1）

縮尺
★

日付
★

訂正
★

担当
★

承認
★

備考
★

藤川設計株式会社

一級建築士大臣登録117471号
田中 保雄

A-O1

仮設工事

②

①監督員事務所
(2.3.1)

・設置する。
監督員事務所の規模(単位:m)

適用					
規模	10程度	20程度	35程度	65程度	100程度

2.監督員事務所
の設備・備品
(2.3.1)

種類	机・いす	書棚	黒板・白板	掛時計	温度計
数量	組	台	個	個	個
種類	長靴	雨合羽	保護帽	懐中電灯	衣類ロッカー
数量	足	着	個	個	台
種類	消火器	掃除具	受注者加入 電話・FAX	インターネット	冷暖房機器
数量	個	個	台	台	台

監督員職員事務所の仕上げ

部 位 等	仕 上 げ
床	合板張り又はビニール床シート張り
内壁・天井	合板又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルション塗り
屋根	溶融亜鉛めっき鋼板又は鉄板張り、調合ペイント塗り

③仮設便所

構内既存の施設
・利用できる
・利用できない

④工事用水

構内既存の施設
・利用できる(・有償・無償)
・利用できない

⑤工事用電力

構内既存の施設
・利用できる(・有償・無償)
・利用できない
本工事で新規受電または既設電気回路に接続し通電した時から工事に起因する電力料金は本工事に含まれる。

⑥足場

内部足場の種別(参考)・脚立・棚足場・()

外部足場の種別(参考)・手摺先行据置枠組本足場
・その他(脚立)

防護シート等による養生・適用する・適用しない

設置する足場については、「手すり先行工法等に関するガイドライン(厚生労働省平成21年4月)」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。
足場(つり足場、張出し足場又は高さが10m以上の足場で、組立から解体までの期間が60日以上のものに限る)の組立て後、市監督員立ち合いの下、当該足場の組立てを担当した者以外の足場に関し十分な知識と経験を有する者により点検を行うこと。なお、「十分な知識と経験を有する者」とは、以下の者とする。
1) 足場の組立て等作業主任者であって、労働安全衛生法第19条の2に基づく足場の組立て等作業主任者能力向上教育を受けた者
2) 労働安全衛生法第81条に規定する労働安全コンサルタント(区分が土木又は建築である者)や厚生労働大臣の登録を受けた者が行う研修を修了した者等法第88条に基づく足場の設置等の届出に係る「計画作成参画者」に必要な資格を有する者
3) 全国仮設安全事業協同組合が行う「仮設安全監理者資格取得講習」、建設業労働災害防止協会が行う「施工管理者等のための足場点検実務研修」を受けた者等足場の点検に必要な専門的知識の習得のために行う教育、研修又は講習を修了するなど、足場の安全点検について、上記1)又は2)に掲げる者と同等の知識・経験を有する者

⑦交通誘導警備員

配置
・図示(図面番号:A-20)

③

①埋戻し及び盛土
(3.2.3)
(表3.2.1)

②建設発生土
の処理
(3.2.5)

3.山留めの撤去
(3.3.3)

種別
・A種
・B種
・C種
・D種

・自由処分
・処分地指定
・処分地未定につき相互協議する。暫定運搬距離8km

鋼矢板等の抜き跡の処理
・砂充填
・()
山留め壁等
・撤去
・存置

④

地業工事

1.杭の施工管理

杭工事特記仕様書による。

2.適用基準

本特記事項に個別に記載の適用基準に加え、以下の基準を適用する。
国土交通省告示第468号「基礎ぐい工事の適正な施工を確保するために講ずべき措置」(平成28年3月4日)

3.施工記録

受注者は、杭の施工期間中は、1週間ごとに、その週に施工した杭の施工記録を取りまとめ、翌週以内に監督員に、工事打合せ簿を添付したうえで提出し、確認を受けること。また電流値が記録されたチャート紙等の原本を合わせて提示し、必ず監督員の確認を受けること。
なお、取得すべき施工記録が取得できない場合に、当該施工記録に代替する記録を確保するための手法については、施工計画書に明記しておくこと。

4.根拠資料

特記仕様書及びその他基準書等の定めにより作成した施工管理資料の根拠となる資料(施工記録の原本、チャート紙、電子的な記録やプリントアウト紙等)は、受注者において全て適切に管理し、保管しなければならない。保管期間は契約書第31条第4項又は第5項(第38条においてこれらの規定を準用する場合を含む。)の規定による引渡しを受けた日から10年とする。
また、発注者から請求があった場合は、速やかにこれらを提出または提示しなければならない。

5.試験杭及び試験掘(4.2.2)

・試験杭
位置、本数及び寸法
図示(図面番号:)
・試験掘
位置、本数及び寸法
図示(図面番号:)

6.杭の支持層

支持層の位置、土質
・図示(図面番号:)
・()

7.水平方向の位置ずれ

()mm以下

8.杭の載荷試験(4.2.3)

試験方法
・鉛直載荷
・水平載荷
・()
試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。
位置、本数
・図示(図面番号:)
載荷荷重(kN)
報告書
・提出部数2部

9.地盤の載荷試験(4.2.4)

試験方法
・平板載荷
・()
試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。
位置
・図示(図面番号:)
載荷荷重(kN)
報告書
・提出部数2部

10.既製コンクリート杭(4.3.1)
(表4.3.1)
(4.3.3)
(4.3.4)
(4.3.5)
(4.3.6)
(4.3.8)

種別	杭径(mm)	杭長	継手数	セット数	長期設計 支持力(kN/本)	備考

先端形状
・開放型
・閉そく型

施工方法
・セメントミルク工法
・オーガーの支持層への掘削深さ
・()m
・図示(図面番号:)
・杭の支持層への根入れ深さ
・()m
・図示(図面番号:)
・特定埋込杭工法
・杭の根入れ深さ
・()m
・図示(図面番号:)
・根固め液及び杭周固定液の管理試験
・標準仕様書[4.3.4(6)(a)]
・()
継手
・アーク溶接
・無溶接継手(工法:)
杭頭の処理
・行う
・行わない

11.鋼杭地業
(4.4.3)
(4.4.4)
(4.4.5)
(4.4.6)
(4.3.5)
(4.3.8)

・鋼管杭
・SKK400
・SKK490
・H形鋼杭
・SHK400
・SHK490M
径
・300
・350
・400
・450
・()
長さ
()m
継手
・JISA5525(鋼管ぐい)
径
・300
・350
・400
・450
・()
施工方法
・特定埋込杭工法
・杭の根入れ深さ
・()m
・図示(図面番号:)
杭頭の処理
・行う
・行わない

12.場所打ちコンクリート杭地業
(4.5.1)
(4.5.4)
(4.5.5)
(4.5.6)
(表4.5.1)

施工方法
・アースドリル工法
・リバース工法
・オールケーシング工法
・鋼管コンクリート杭工法
拡底
・行わない
・行う()
杭の根入れ深さ
・()m
・図示(図面番号:)
孔壁の超音波測定
・行う
・行わない
帯筋の加工及び組立
・図示(図面番号:)
鉄筋の最小かぶり厚さ
()mm
鉄筋かごの補強
・図示(図面番号:)
継手
・重ね継手
・()
コンクリートの種別
・A種
・B種
設計基準強度
()N/mm²
セメントの種類
・高炉セメントB種
・()
スランブ(cm)
・18
・()
構造体強度補正値(S)
・3N/mm²
・()

13.地盤改良
・()工法
・六価クロム溶出試験
・室内配合試験
・一軸圧縮試験

⑭砂及び砂利地業(4.6.2)
(4.6.3)

砂利
・再生クラッシャラン
・切込砂利
・切込碎石
・()
砂
・シルト
・山砂
・川砂
・砕砂
・()
施工範囲
・図示(図面番号:)
厚さ(mm)
・60
・(150)
・仕上がりレベルを計測し、記録すること。

⑮捨コンクリート地業(4.6.4)

厚さ(mm)
・50
・(30)
施工範囲
・図示(図面番号:A-18)
・仕上がりレベルを計測し、記録すること。

16.床下防湿層
(4.6.2)
(4.6.5)

施工範囲
・図示(図面番号:)
ポリエチレンフィルム厚さ
・0.15mm以上
・()
・防湿層の重ね幅、基礎梁へののみ込みは、250mm以上とする。

⑤

鉄筋工事

①鉄筋の種類
(5.2.1)

種類の記号	径	備考
・SD295A	・D16以下	
・SD295B	・()	
・SD345	・D19以上	

・建築基準法第37条の規定に基づき認定を受けたもの

②溶接金網
(5.2.2)

網目の形状、寸法
鉄線の径(mm)
・4
・5
・6
・(3.2)
寸法(mm)
・100×100
・150×150
・(50×50)

3.内法直径
(5.3.2)

90°未満の折曲げの内法直径
・図示(図面番号:)

④継手
(5.3.4)

	径	部 位
・重ね継手	D13 D10	土間 立上り
・ガス圧接		

主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ
・標準仕様書[5.3.4](3)(7)
・図示(図面番号:)
継手位置
・各部配筋参考図による
・図示(図面番号:)
鉄筋定着
・標準仕様書[表5.3.4]
・図示(図面番号:)
・標準仕様書[図5.3.3]
・図示(図面番号:)

⑤鉄筋のかぶり厚さ及び間隔
(5.3.5)(表5.3.6)

鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ
・標準仕様書[表5.3.6]
・図示(図面番号:)

⑥各部配筋
(5.3.7)

・図示(図面番号:A-18)

7.圧接完了後の試験(5.4.10)

抜取試験方法
・超音波探傷試験
・引張試験
引張試験方法
・標準仕様書[5.4.10](f)(b)
・()

8.機械式継手及び溶接継手
(5.5.2)
(5.6.3)

・機械式継手
適用箇所()
種類()
性能()
施工完了後の継手部の試験()
不合格となった継手部への措置()
鉄筋相互のあき()mm
・溶接継手
適用箇所()
工法()
性能()
施工完了後の溶接部の試験()
不合格となった溶接部への措置()
鉄筋相互のあき()mm

工事名称

図面名称

縮尺

日付

訂正

担当

承認

備考

津市上下水道庁舎来庁者駐車場整備工事

特記仕様書(2)

★

★

★

★

★

★

★

藤川設計株式会社

一級建築士大臣登録117471号
田中 保雄

A-02

⑥

コンクリート工事

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

⑩

11

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

⑩

11

⑬

屋根及び
とい工事

1

2

3

④

⑮

左官工事

1

2

3

4

5

⑥

工事名称

★

津市上下水道庁舎来庁者駐車場整備工事

図面名称

★

特記仕様書（3）

縮尺

★

日付

★

訂正

★

担当

★

承認

★

備考

★

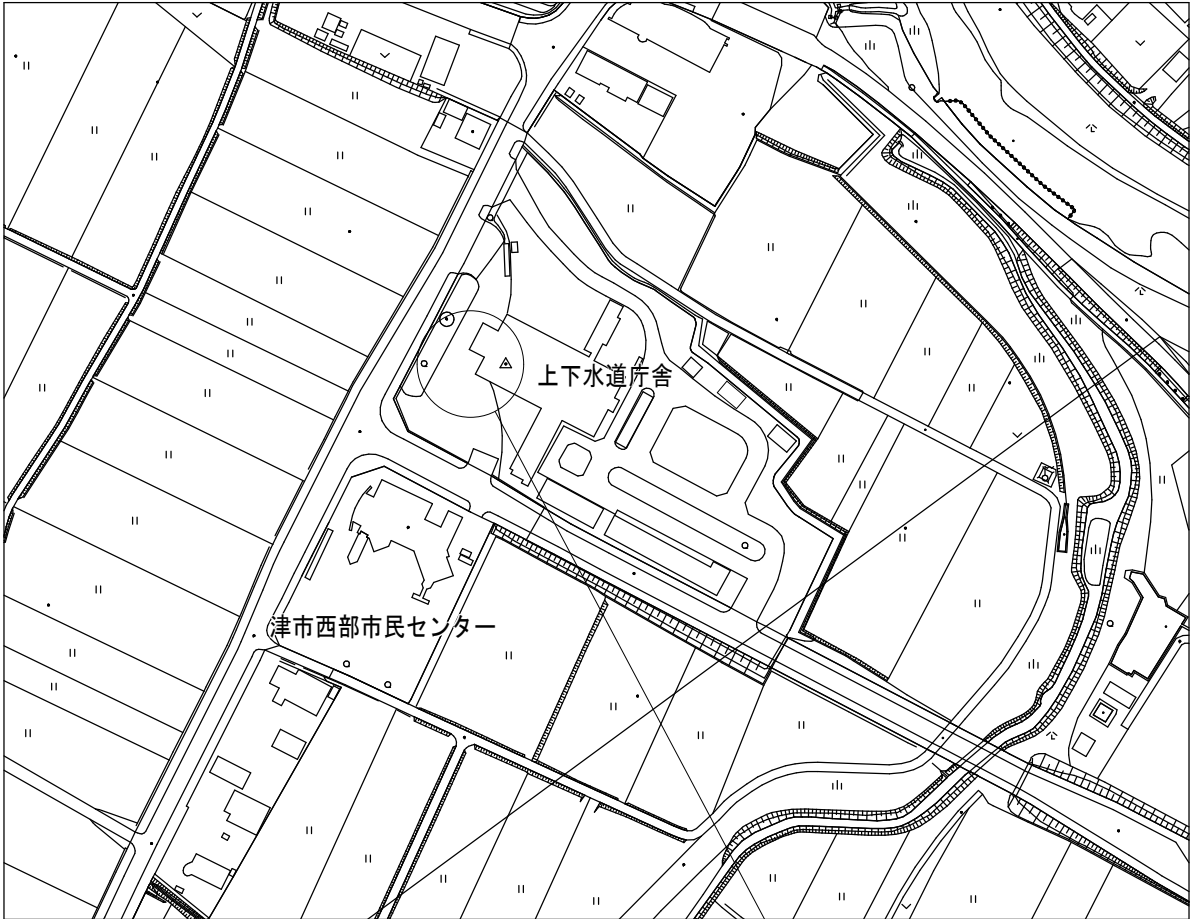
藤川設計株式会社

一級建築士大臣登録117471号

田中 保雄

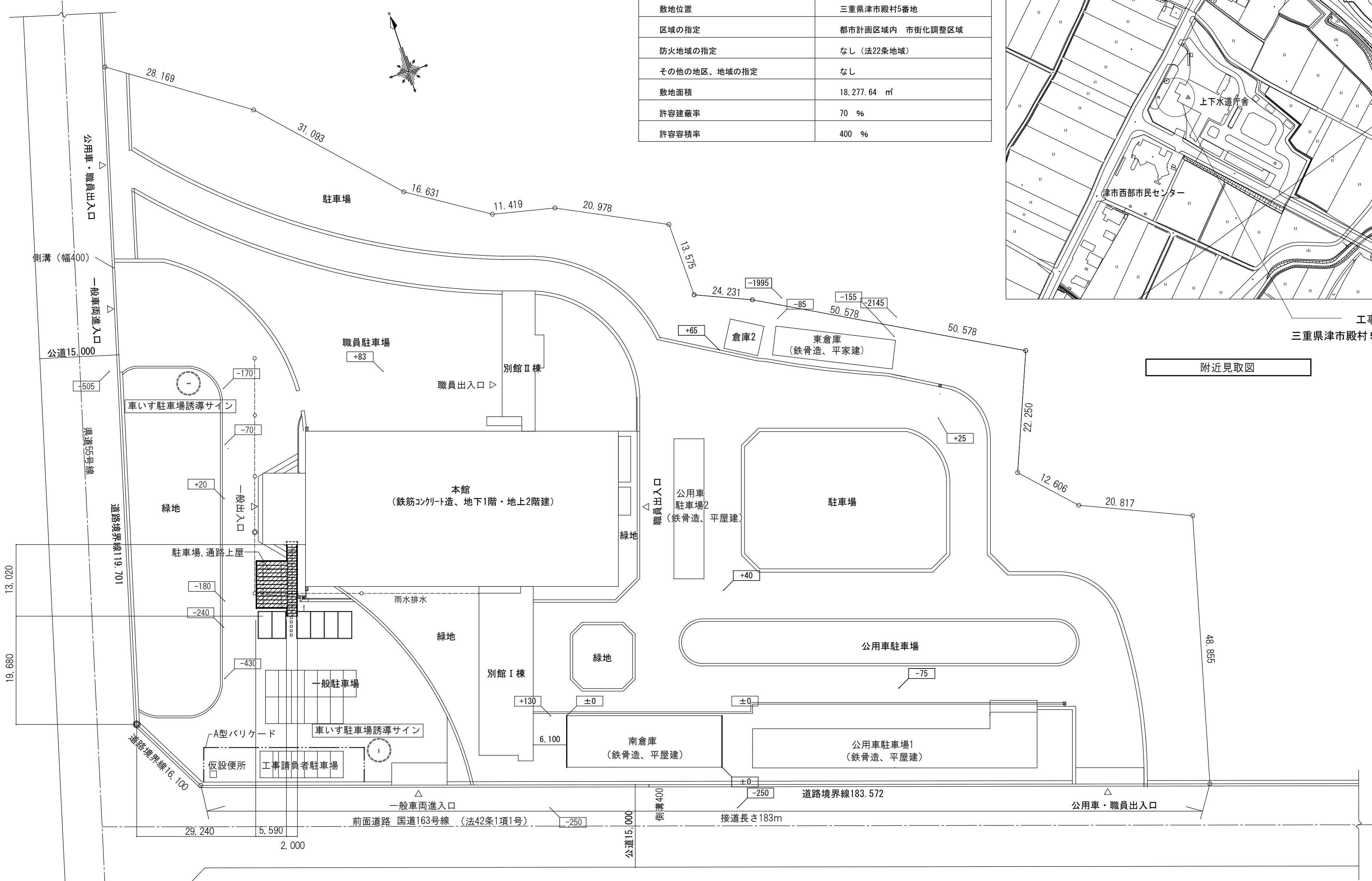
A-03

敷地概要	
敷地位置	三重県津市殿村5番地
区域の指定	都市計画区域内 市街化調整区域
防火地域の指定	なし（法22条地域）
その他の地区、地域の指定	なし
敷地面積	18,277.64 m ²
許容建蔽率	70 %
許容容積率	400 %



工事場所
三重県津市殿村5番地

附近見取図



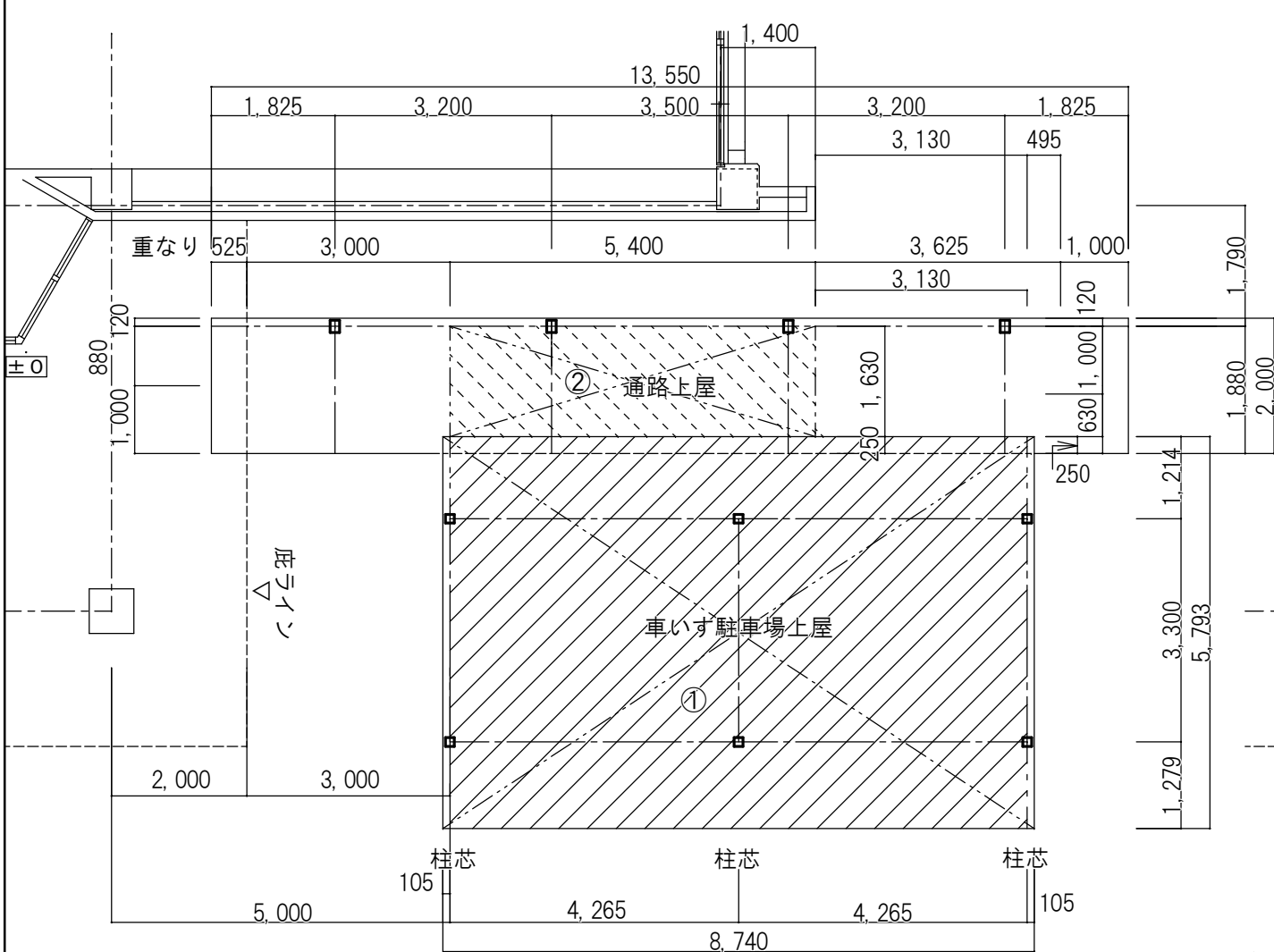
< 凡 例 >

- 新築建物を示す
- その他建物を示す

配置図 S=1:500

仕 上 概 要

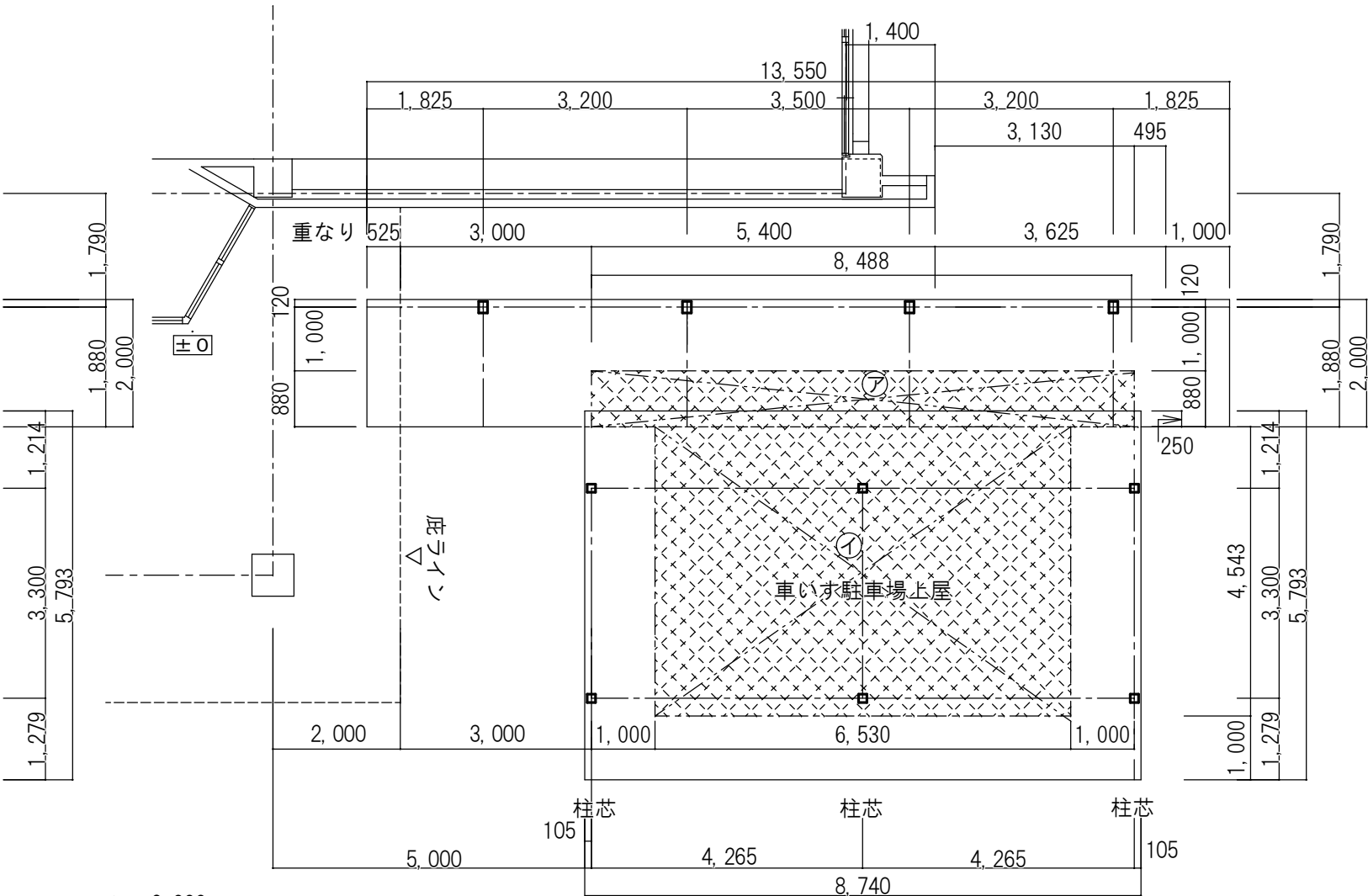
場 所		仕 上	場 所		仕 上
ポーチ床	改修前	・モルタル下地珫器質150角タイル張一部撤去	車いす駐車場	改修前	・アスファルト舗装 （A－5－15）撤去
	改修後	・一部モルタル下地の上 磁器質150角タイル張 （階段 段鼻磁器質タイル張） ・一部モルタル下地の上 点状ブロック300角タイル張		改修後	・アスファルト舗装 （A－5－15） ・駐車部分 カラー塗装 ・白線引き（W=150）溶融式 ・車止めブロック コンクリート製 反射シール付き ・上屋新設 アルミニウム合金造 屋根熱線遮断F R P板（DRタイプ）葺き W8,740×D5,793×H3,800 （認定番号：D R-9027） 各柱 柱ガード（ゴム製）L=1000 4隅設置 ・自立型車いす駐車場サイン 1か所
スロープ	改修前	・モルタル下地珫器質150角タイル張撤去 ・立上りモルタル下地100角磁器タイル張撤去	通 路	改修前	・アスファルト舗装 （A－5－15）撤去 ・L型側溝W450撤去
	改修後	・床 モルタル下地の上 磁器質150角ノンスリップタイル張 ・立上り コンクリート打放し補修の上 複層塗材E吹付		改修後	・アスファルト舗装 （A－5－15） 透水性平板ブロック300角 ・SUS製（HL）2段手摺 φ38×t2.0 H=850 支柱SUS製（HL）φ34×t2.0 ・上屋新設 アルミニウム合金造 屋根アルミニウム合金板葺きW13,550×D2,000×H2,700 （認定番号：N M-8597）
植込	改修前	・立上り コンクリート打放し研り仕上げ撤去 ・低木撤去 ・植込土撤去	一般駐車場	改修前	・アスファルト舗装 （A－5－15）撤去 ・L型側溝W450撤去
	改修後	・立上り コンクリート打放し補修の上 複層塗材E吹付 ・残土敷固め t=100 ・防草シート敷込（再生ポリエステル製 t=4.0） ・白玉石敷（25mm） t=100		改修後	・アスファルト舗装 （A－5－15） 一部現場打ち平側溝 ・白線引き（W=100）溶融式 ・車止めブロック コンクリート製
			場内出入口	改修後	・自立型車いす駐車場誘導サイン 2ヶ所新設



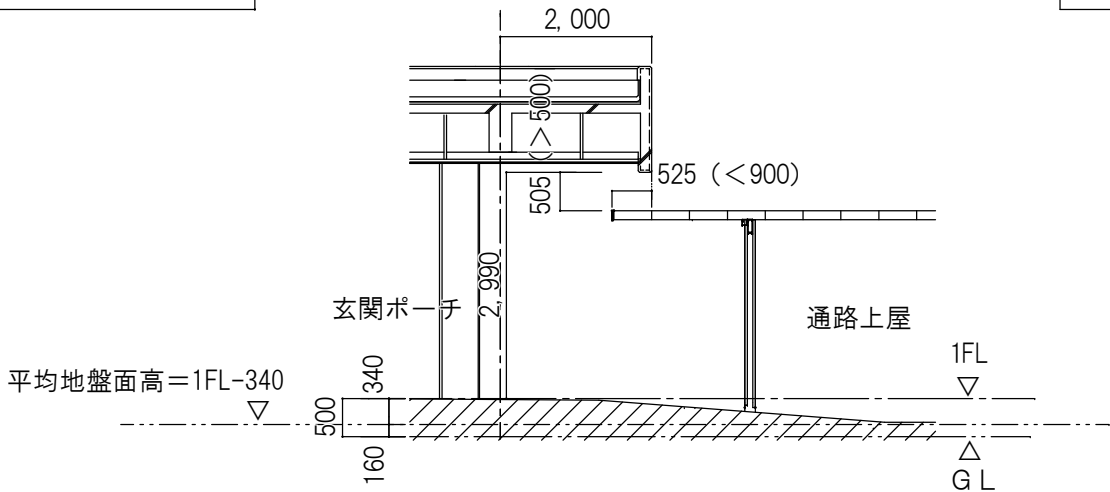
- 床面積
- 車いす駐車場上屋面積
- ・床面積 ① 5.793×4.265×2=49.41429→49.41㎡
- 通路上屋面積
- ・床面積 ② 1.63×5.4=8.802→8.80㎡
- 車いす駐車場上屋面積+通路上屋面積
- ・床面積 49.41+8.80=58.21㎡

- 建築面積
- 床面積=㊷+㊸
- 0.88×8.488+6.53×4.534=37.07646→37.07㎡

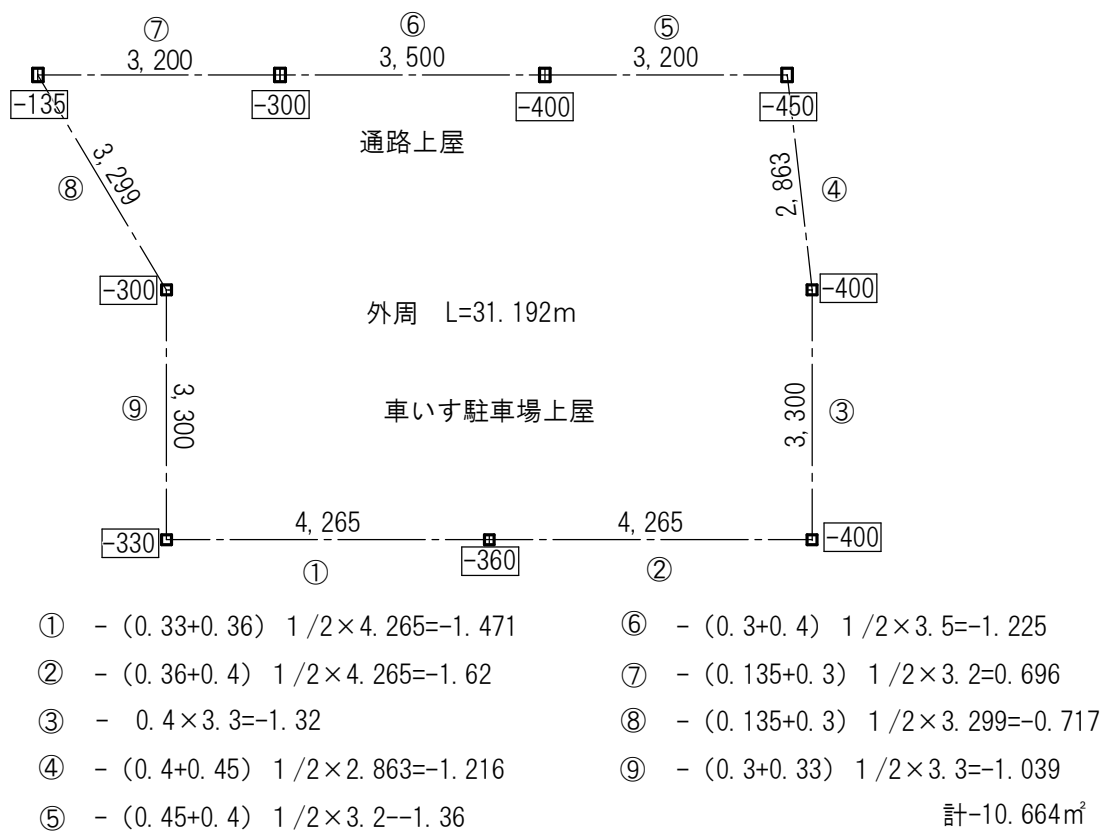
面積計算図・面積計算 1/100



建 築 面 積



屋根重なり部分断面図 1/100

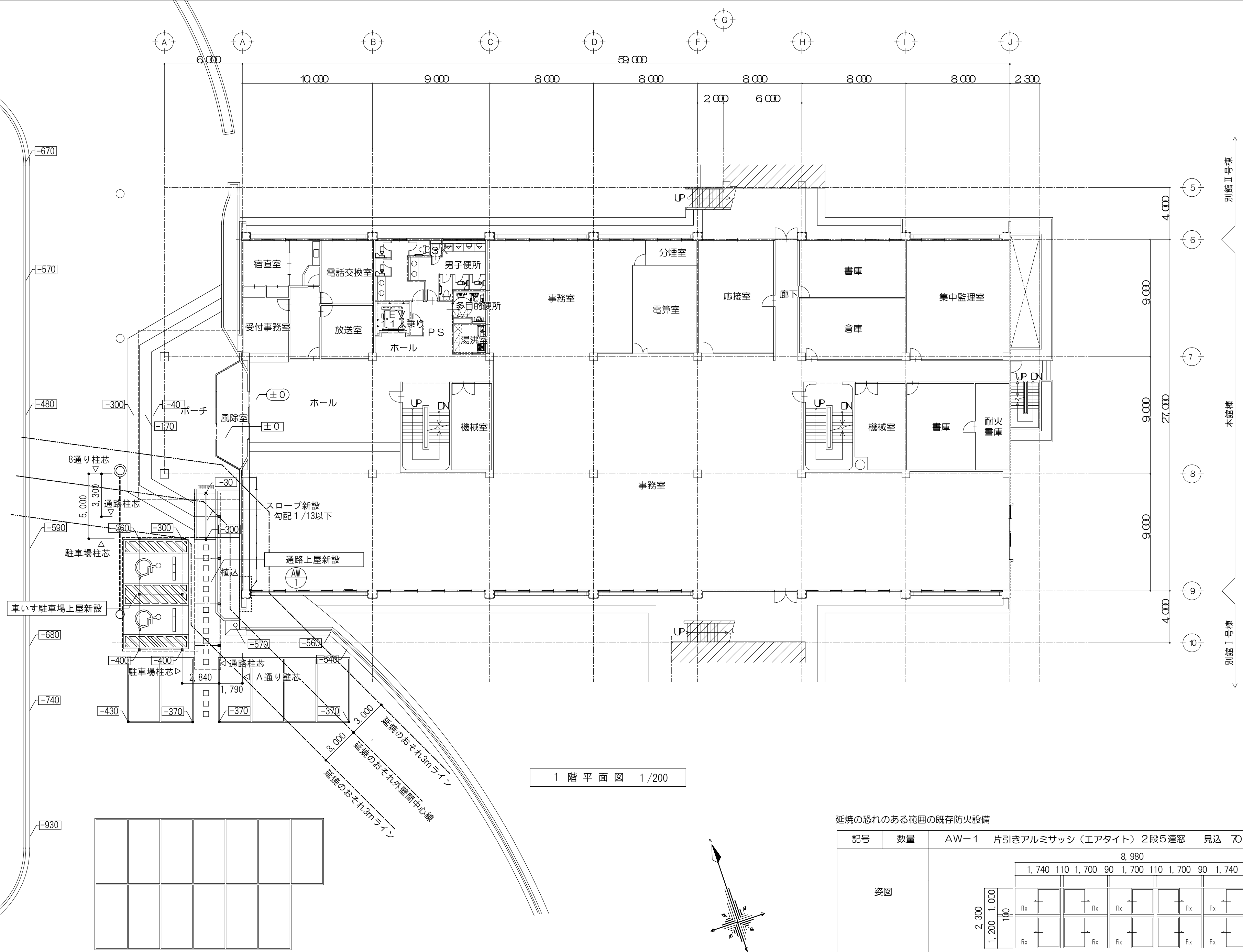


□ 平均地盤面高さは-10.664÷31.192=-0.34m→ F L - 3 4 0

※ -450

1 F L からの柱の地盤面高さを示す

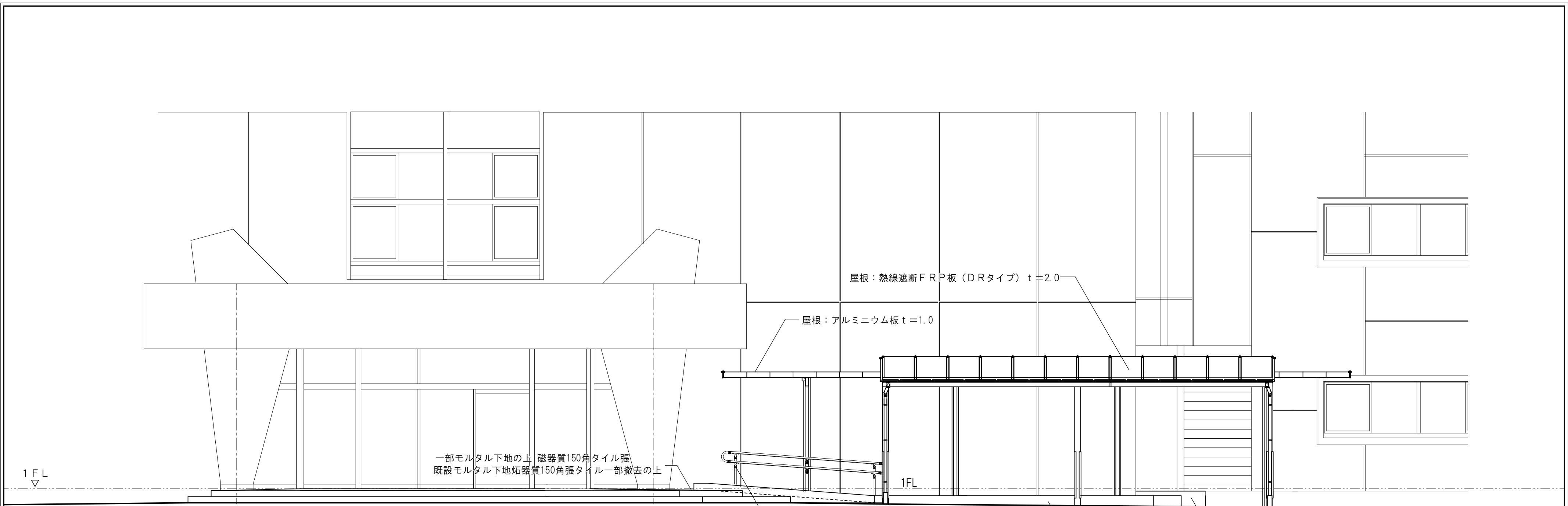
平均地盤面高算定図 1/100



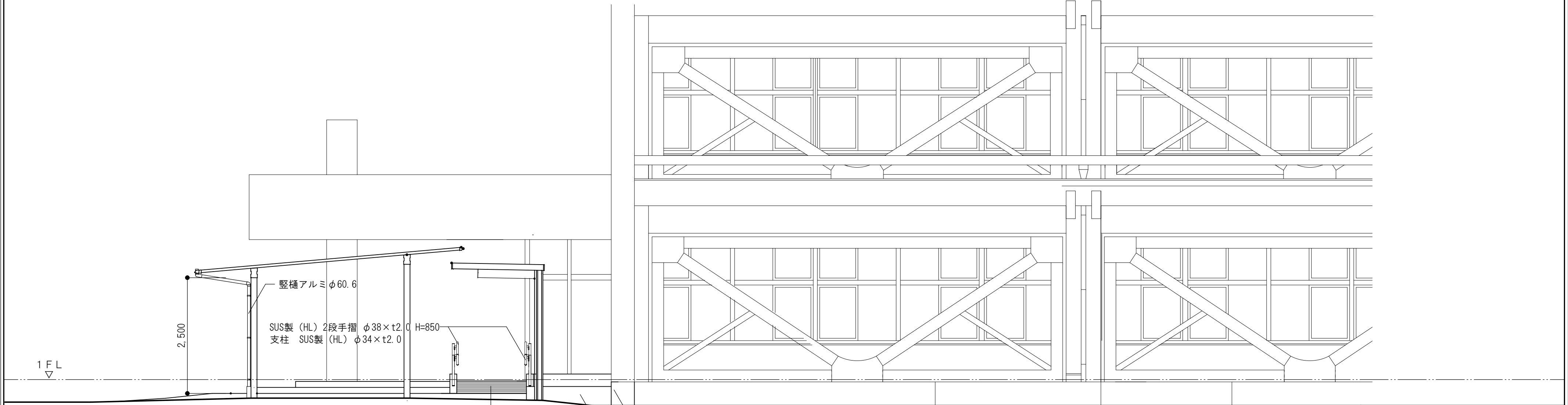
1 階 平 面 図 1 / 200

延焼の恐れのある範囲の既存防火設備

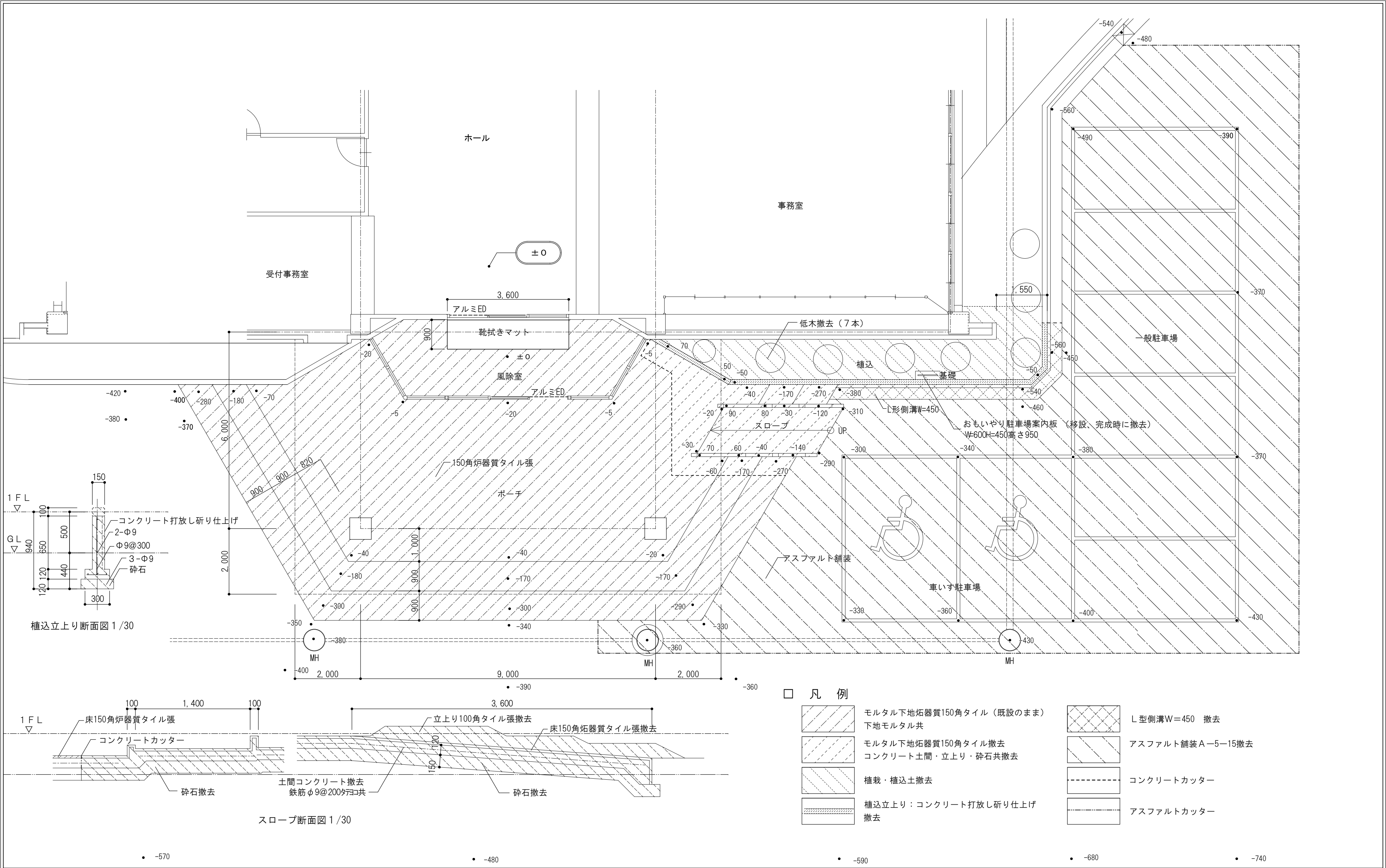
記号	数量	AW-1 片引きアルミサッシ（エアタイト）2段5連窓 見込 70 1ヶ所
窓図	<p>The diagram illustrates a window unit with a total width of 8,980 and a total height of 2,300. The width is divided into five segments: 1,740, 110, 1,700, 90, 1,700, 110, 1,700, 90, and 1,740. The height is divided into two segments: 1,200 and 1,100. The window is labeled 'AW-1 片引きアルミサッシ（エアタイト）2段5連窓'. The diagram shows the window frame and the glass panes, with labels 'fix' and 'open' indicating the operation of the window units.</p>	
場所	1階 事務室	
仕様	※防火設備認定番号 EB-9102	



西立面図 1/60

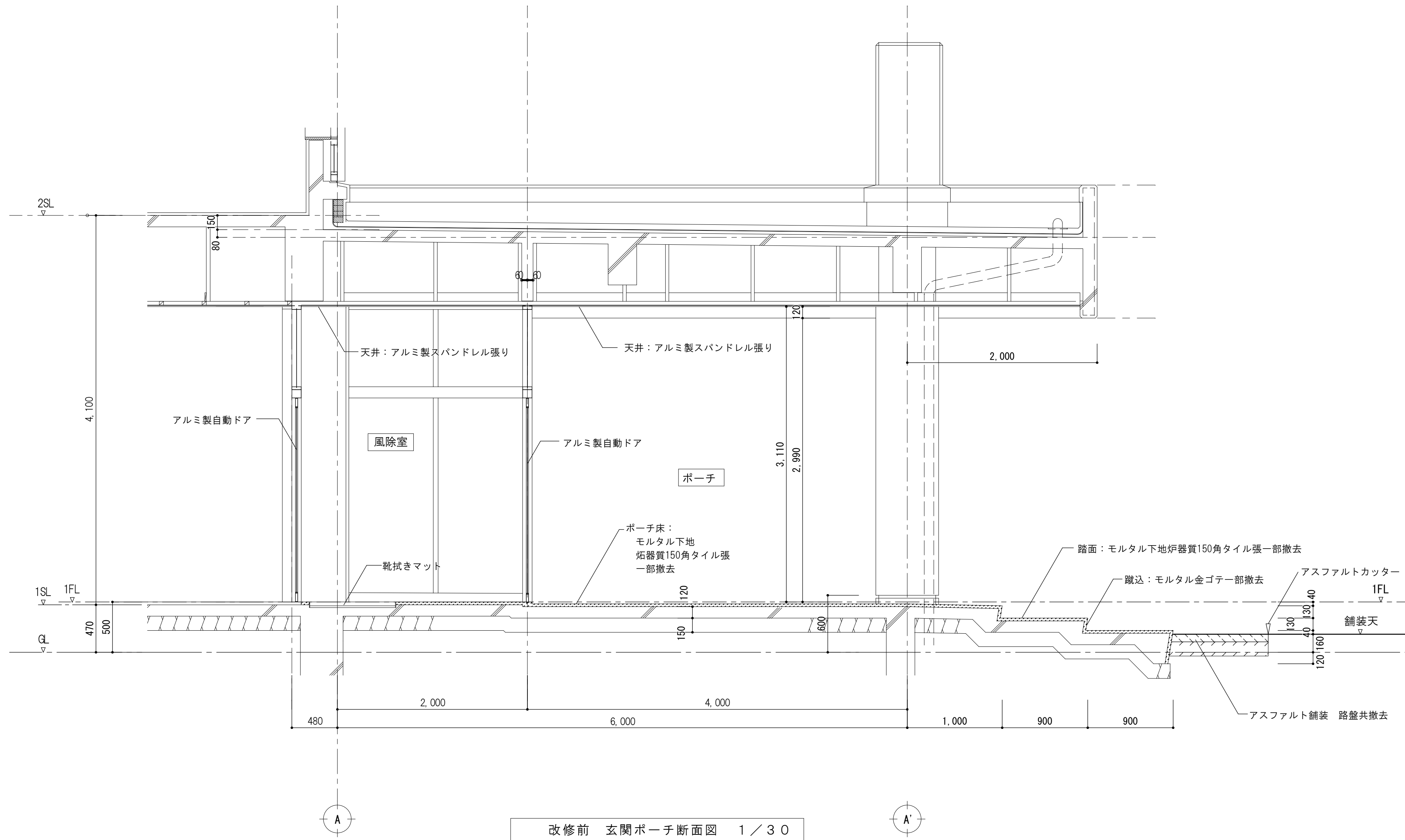


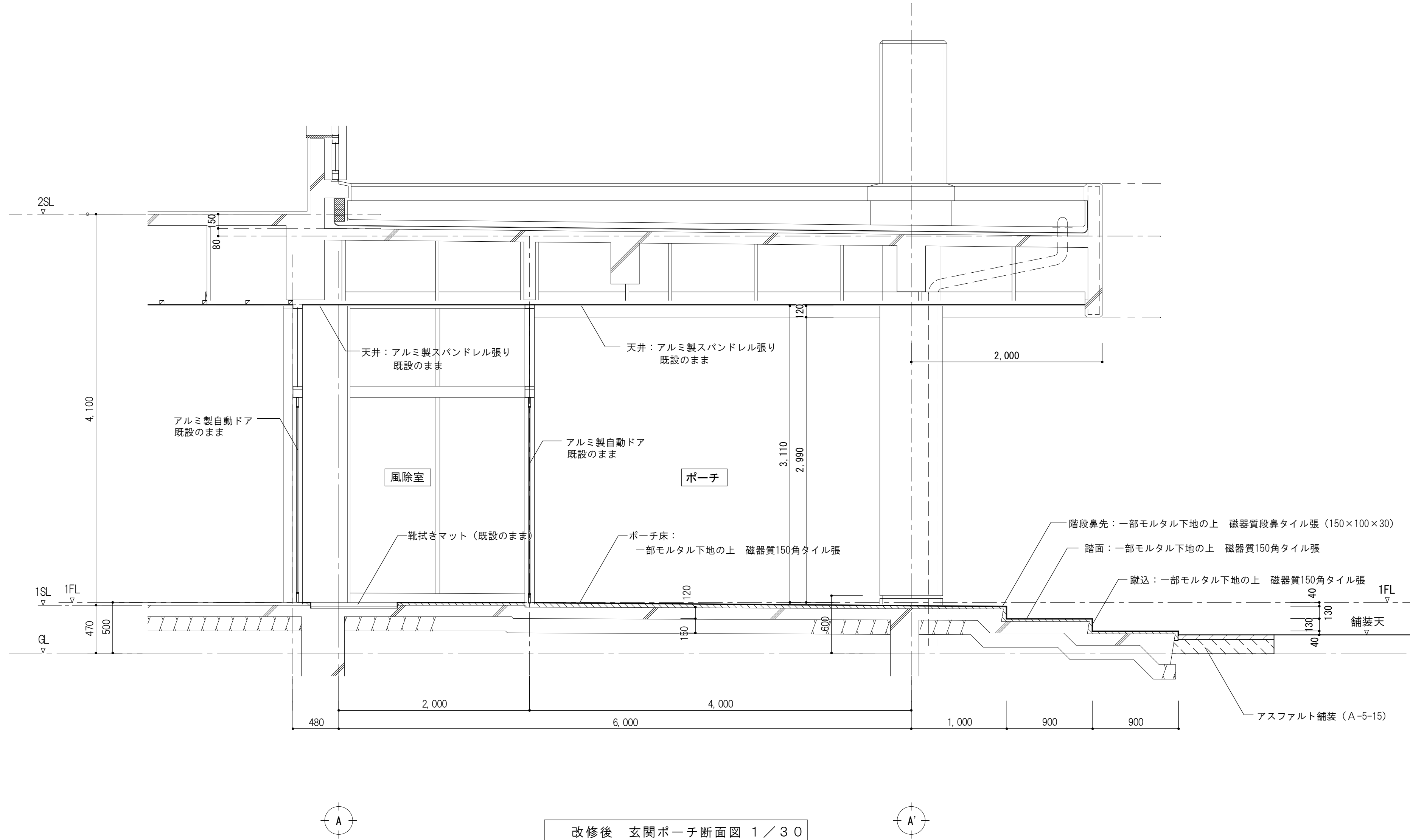
南立面図 1/60

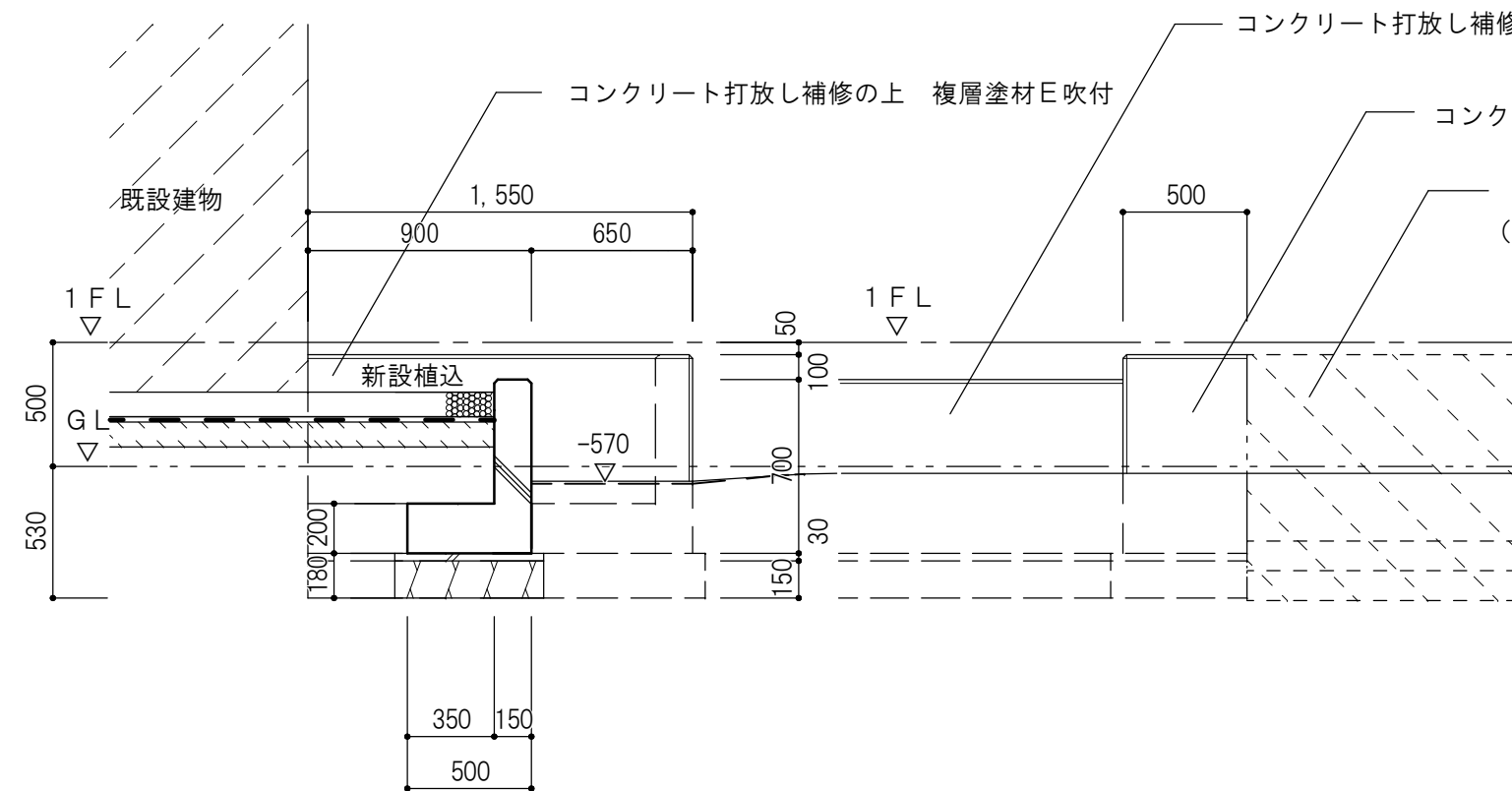


改修前 玄関ポーチ廻り平面詳細図 1 / 75

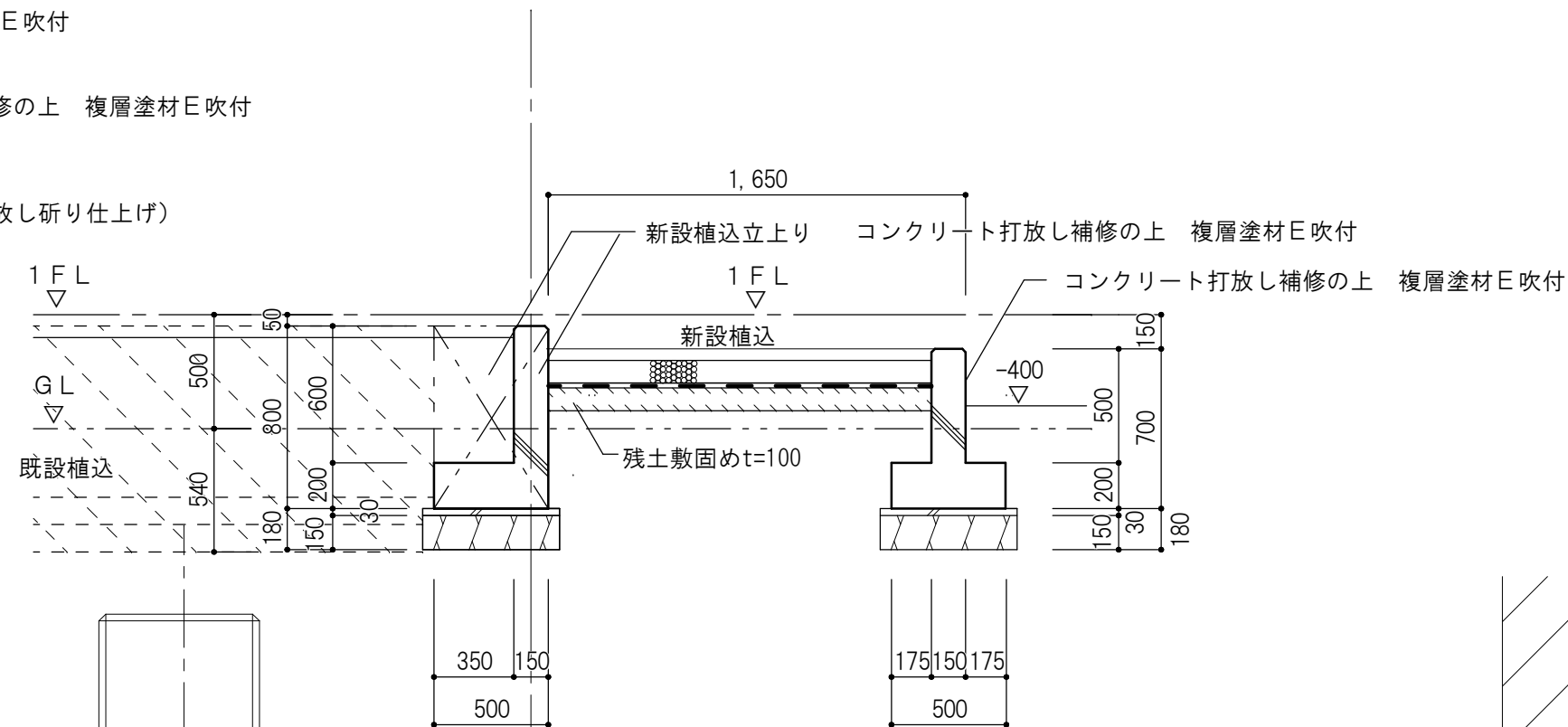
※高さ表示は1 F Lからの高さ。



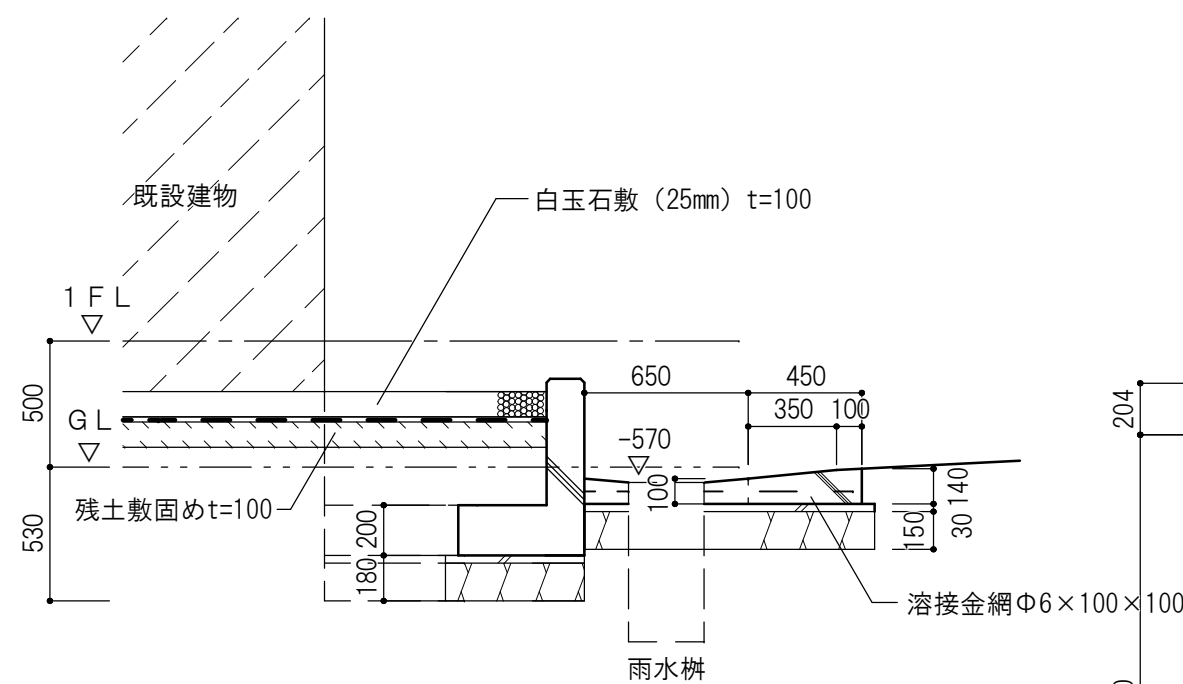




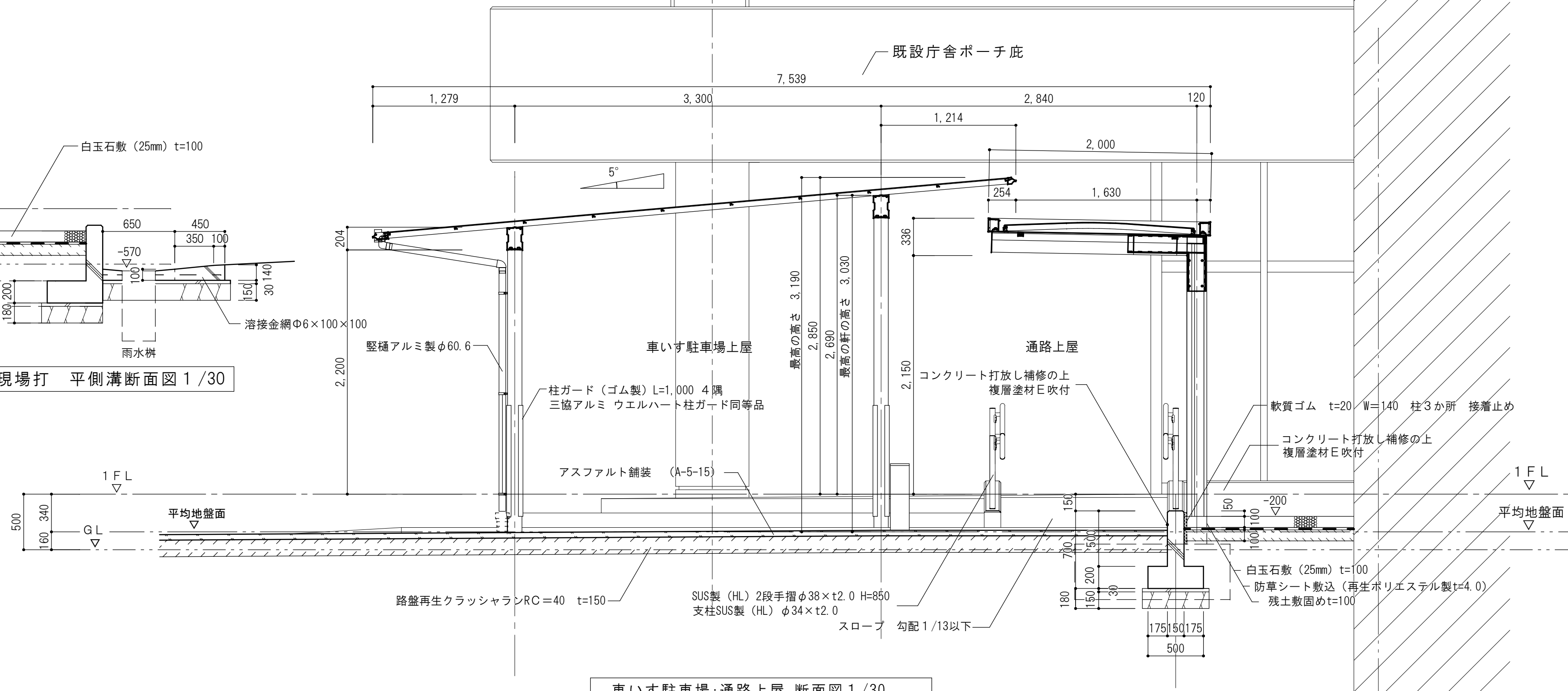
①-①断面図 1 / 30



②-②断面図 1 / 30



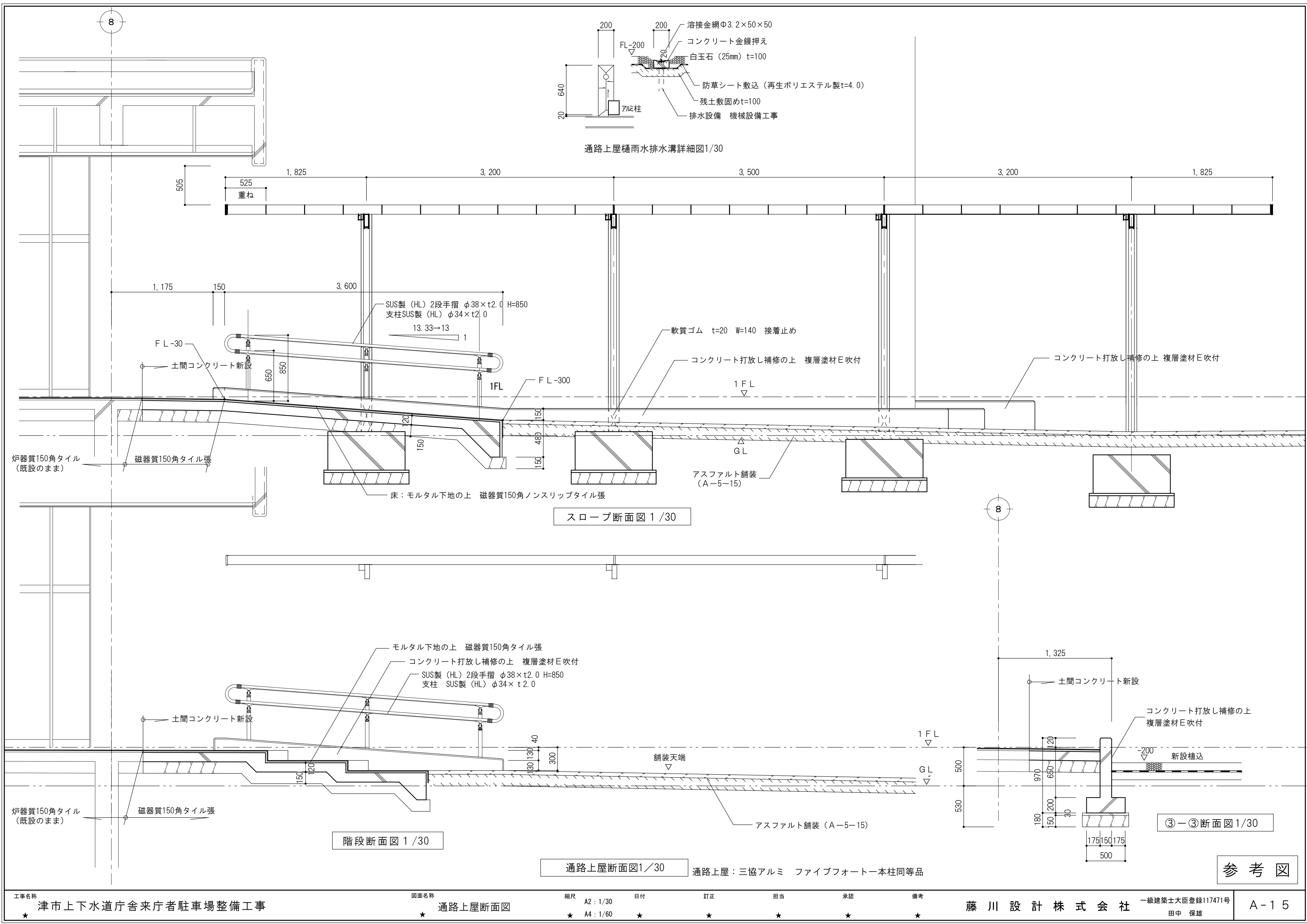
現場打 平側溝断面図 1 / 30

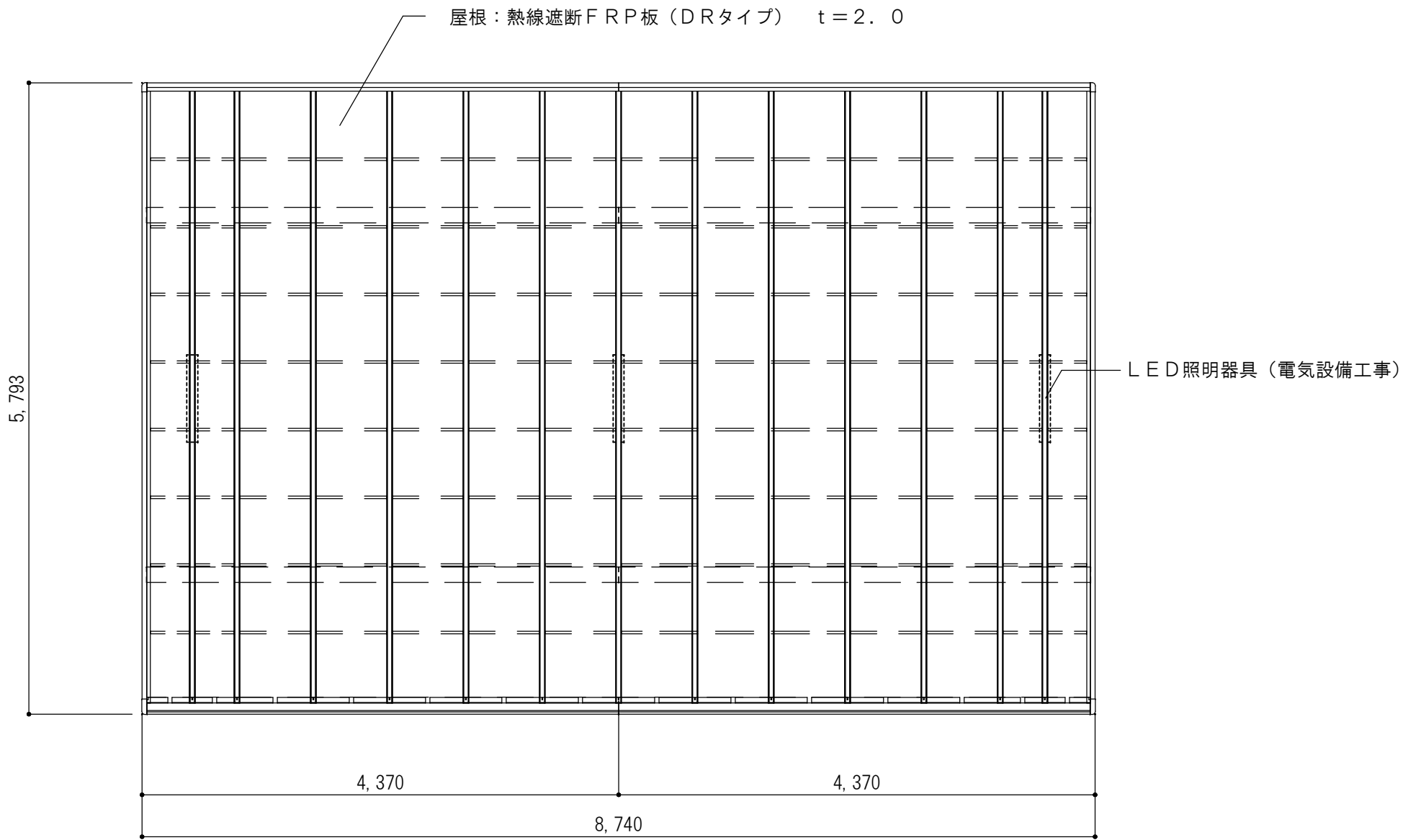


車いす駐車場・通路上屋 断面図 1 / 30

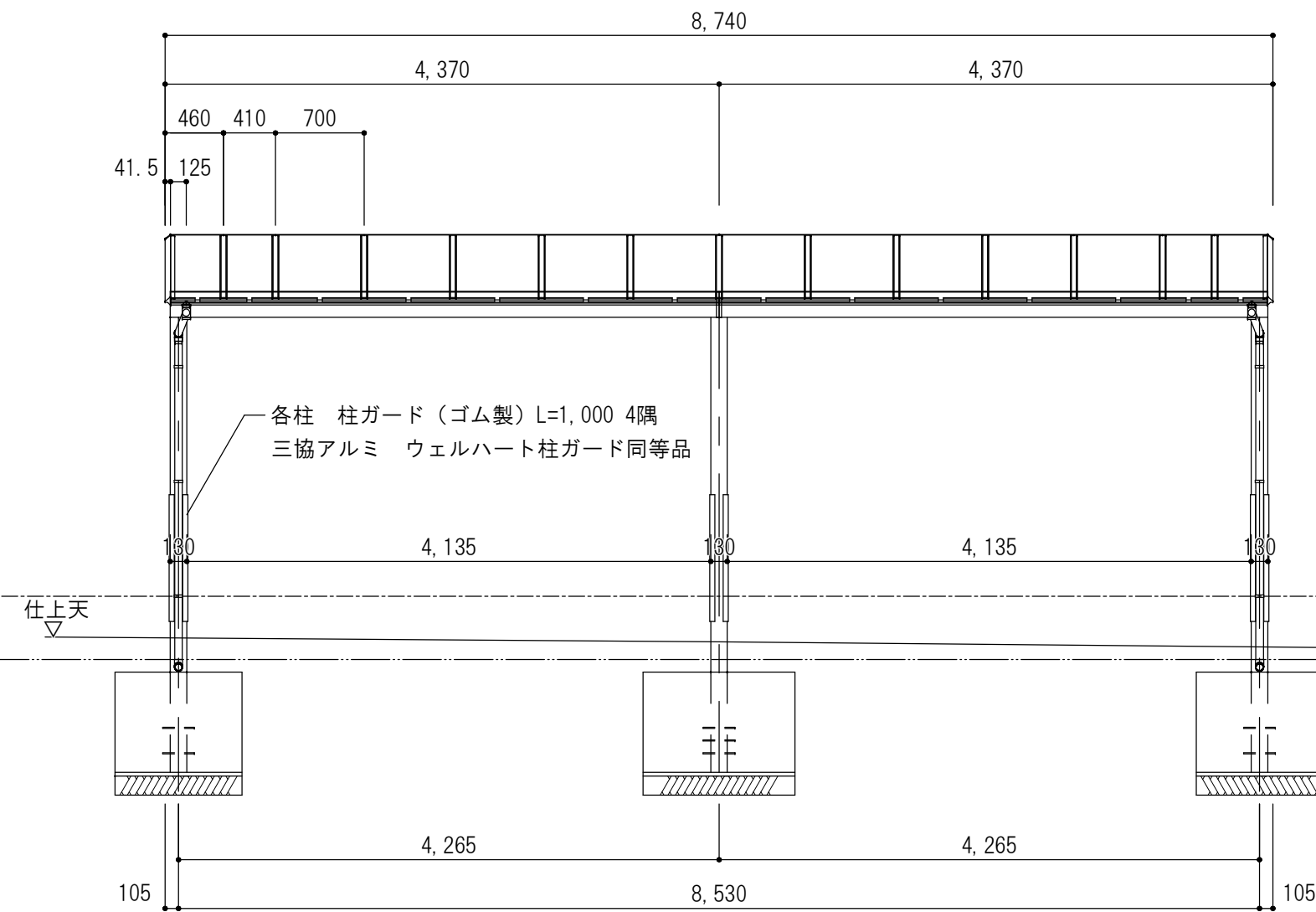
駐車场上屋：三協アルミ ウェルハート同等品
通路上屋：三協アルミ ファイブフォート一本柱同等品

参考図

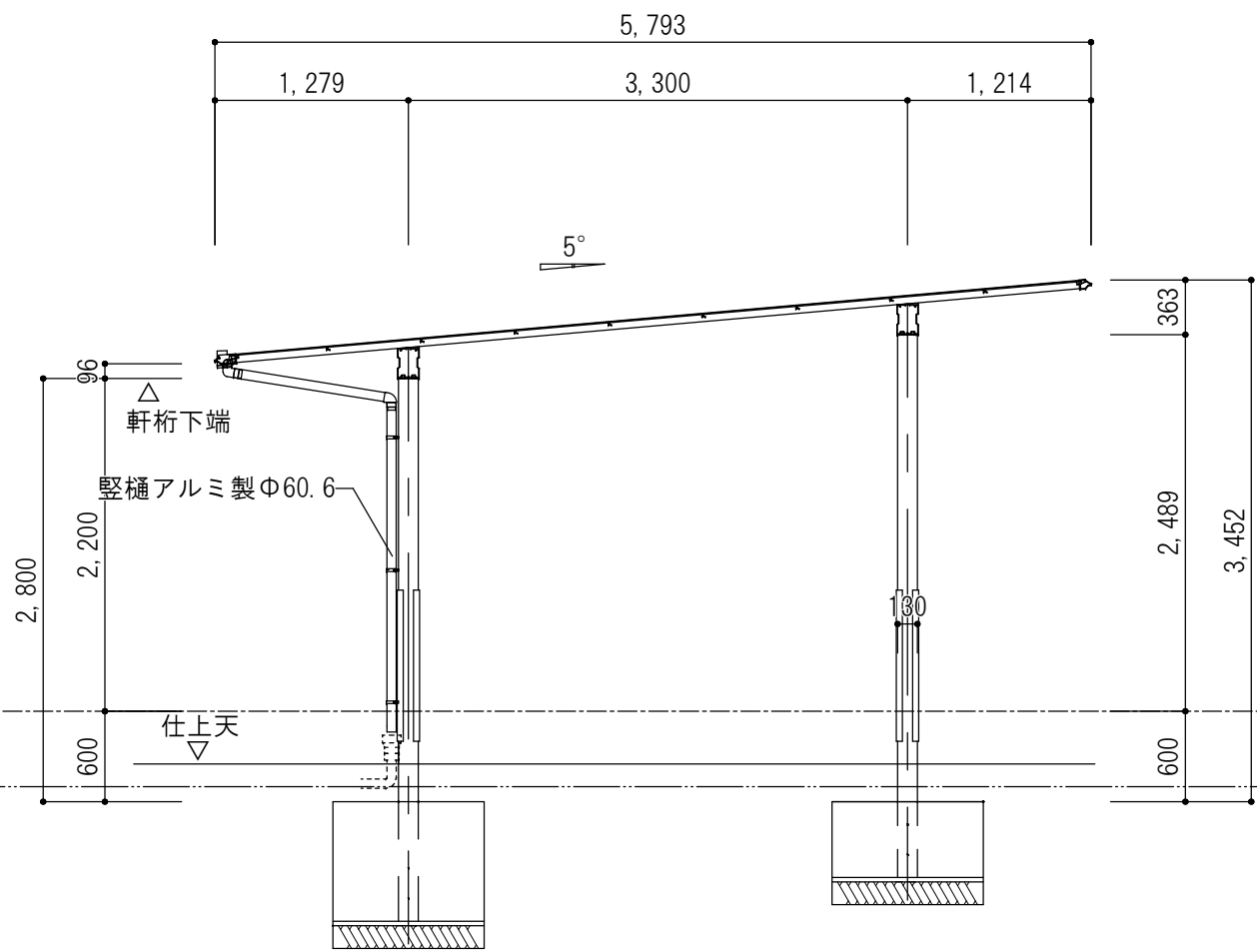




屋根伏図 1 / 50



正面図 1 / 50



側面図 1 / 50

材質仕様書 『ウェルハート（三協アルミ）基本タイプ 同等品』

名 称	材 質	規 格	
柱	アルミニウム合金押出形材	A 6 0 6 3 S - T 6	J I S H 4 1 0 0
梁	アルミニウム合金押出形材	A 6 0 6 3 S - T 6	J I S H 4 1 0 0
樋・後枠	アルミニウム合金押出形材	A 6 0 6 3 S - T 5	J I S H 4 1 0 0
側枠・垂木	アルミニウム合金押出形材	A 6 0 6 3 S - T 6	J I S H 4 1 0 0
パネル押え	アルミニウム合金押出形材	A 6 0 6 3 S - T 5	J I S H 4 1 0 0
パネル	熱線遮断FRP板（DRタイプ） t=2.0 （国土交通大臣認定番号：DR-9027）		
柱取付金具	アルミニウム合金押出形材	A 6 0 6 3 S - T 5	J I S H 4 1 0 0
垂木固定金具	一般構造用圧延鋼材	SS 4 0 0	J I S G 3 1 0 1
樋キャップ・後枠キャップ樹脂	ASA		
梁キャップ	アルミニウム板 t=2.0	A 1 1 0 0 P - H 1 4	J I S H 4 0 0 0
梁連結スリーブ	アルミニウム合金押出形材	A 6 0 6 3 S - T 6	J I S H 4 1 0 0
樋連結材	アルミニウム合金押出形材	A 6 0 6 3 S - T 5	J I S H 4 1 0 0
後枠連結スリーブ	アルミニウム合金押出形材	A 6 0 6 3 S - T 5	J I S H 4 1 0 0
ボルト等	ステンレス		

※アルミニウム合金部材表面処理：J I S H 8 6 0 2 陽極酸化塗装複合皮膜 種類A1「UC、BD色」
建築基準法適合品 国交省告示408、409、410、750号適合商品
耐積雪荷重600N/㎡（積雪30cm） 耐風圧力Vo=38m/S

防食措置

項 目	内 容
アルミニウム合金部材	複合皮膜（陽極酸化皮膜＋透明合成樹脂塗装）
垂木固定金具	電気亜鉛めっき処理＋焼付塗装
アンカー	黒皮

車いす駐車场上屋詳細図1/50

参考図

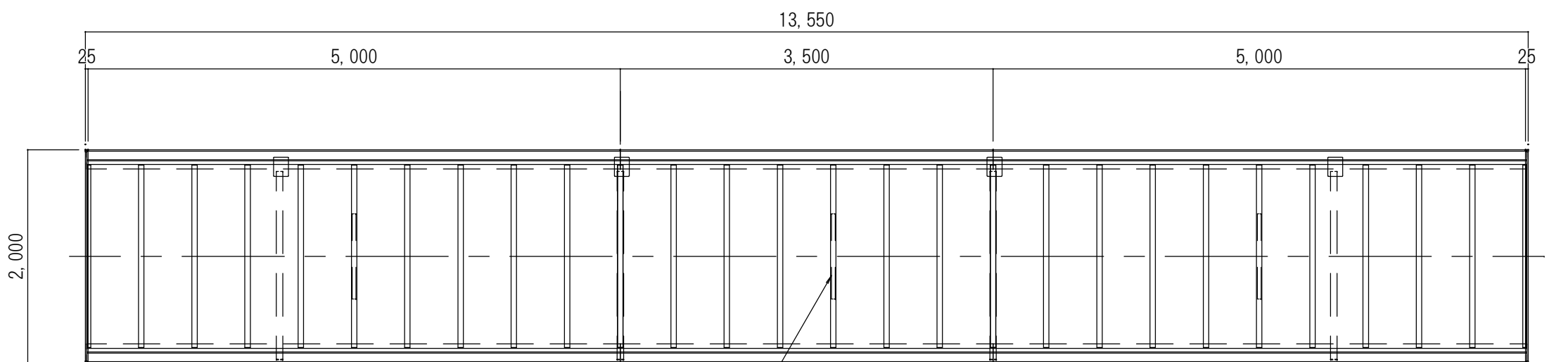
材質仕様書『ファイブフォート（三協アルミ）一本柱タイプ 同等品』

名 称	材 質	規 格	
柱	アルミニウム合金押出形材	A 6 0 6 3 S－T 6	J I S H 4 1 0 0
柱補強 ※H 2 8 の場合	アルミニウム合金押出形材	A 6 0 6 3 S－T 6	J I S H 4 1 0 0
梁	アルミニウム合金押出形材	A 6 0 6 3 S－T 6	J I S H 4 1 0 0
桁	アルミニウム合金押出形材	A 6 0 6 3 S－T 6	J I S H 4 1 0 0
垂木	アルミニウム合金押出形材	A 6 0 6 3 S－T 5	J I S H 4 1 0 0
妻垂木	アルミニウム合金押出形材	A 6 0 6 3 S－T 5	J I S H 4 1 0 0
パネル押え	アルミニウム合金押出形材	A 6 0 6 3 S－T 5	J I S H 4 1 0 0
パネル押え（端部）	アルミニウム合金押出形材	A 6 0 6 3 S－T 5	J I S H 4 1 0 0
屋根パネル	アルミニウム板 t＝1．0	A 1 0 5 0 P－H 2 4	J I S H 4 0 0 0 （国土交通大臣認定番号：NM－8 5 9 7）
コーナー金具	一般構造用圧延鋼材	S S 4 0 0	J I S G 3 1 0 1
桁連結スリーブ	アルミニウム合金押出形材	A 6 0 6 3 S－T 5	J I S H 4 1 0 0
桁受けブラケット	一般構造用圧延鋼材	S S 4 0 0	J I S G 3 1 0 1
桁受けブラケット台座	一般構造用圧延鋼材	S S 4 0 0	J I S G 3 1 0 1
柱カバー	アルミニウム合金押出形材	A 6 0 6 3 S－T 5	J I S H 4 1 0 0
妻破風	アルミニウム合金押出形材	A 6 0 6 3 S－T 5	J I S H 4 1 0 0
梁キャップ	アルミニウム合金鋳物	A C 3 A	J I S H 5 2 0 2
破風コーナーキャップ	ステンレス		
アンカー	一般構造用圧延鋼材	S S 4 0 0	J I S G 3 1 0 1
ボルト等	ステンレス		

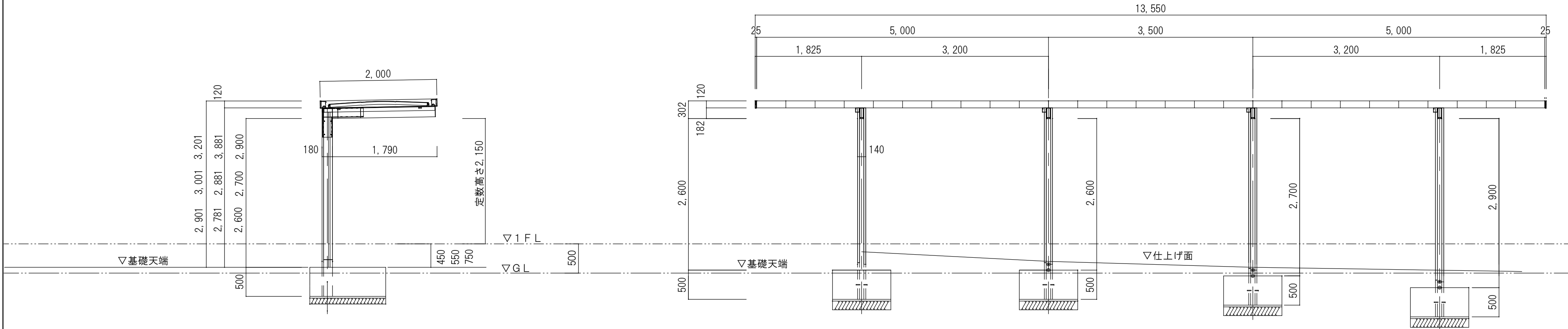
※アルミニウム合金部材表面処理：J I S H 8 6 0 2 陽極酸化塗装複合皮膜 種類A 1「S L C、U C、B D 色」
建築基準法適合品 国交省告示408, 409, 410, 750号適合商品
耐積雪荷重600N/㎡（積雪30 c m） 耐風圧力Vo=34m/S

防食措置

項 目	内 容
アルミニウム合金部材	複合皮膜（陽極酸化皮膜＋透明合成樹脂塗装）
コーナー金具	カチオン電着塗装
桁受けブラケット	電気亜鉛めっき処理＋焼付塗装
桁受けブラケット台座	電気亜鉛めっき処理＋焼付塗装
アンカー	電気亜鉛めっき処理



屋根伏図 1/50

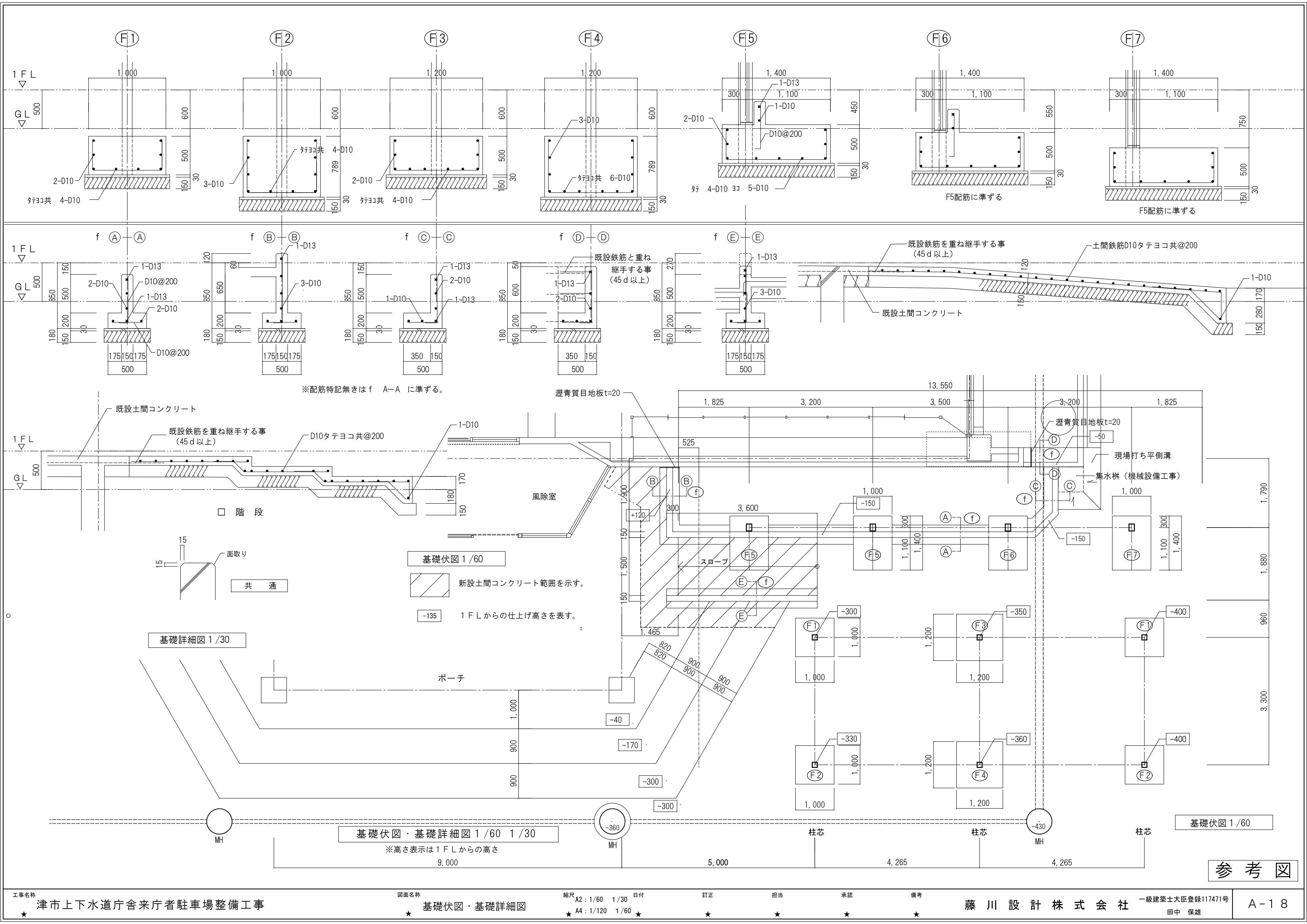


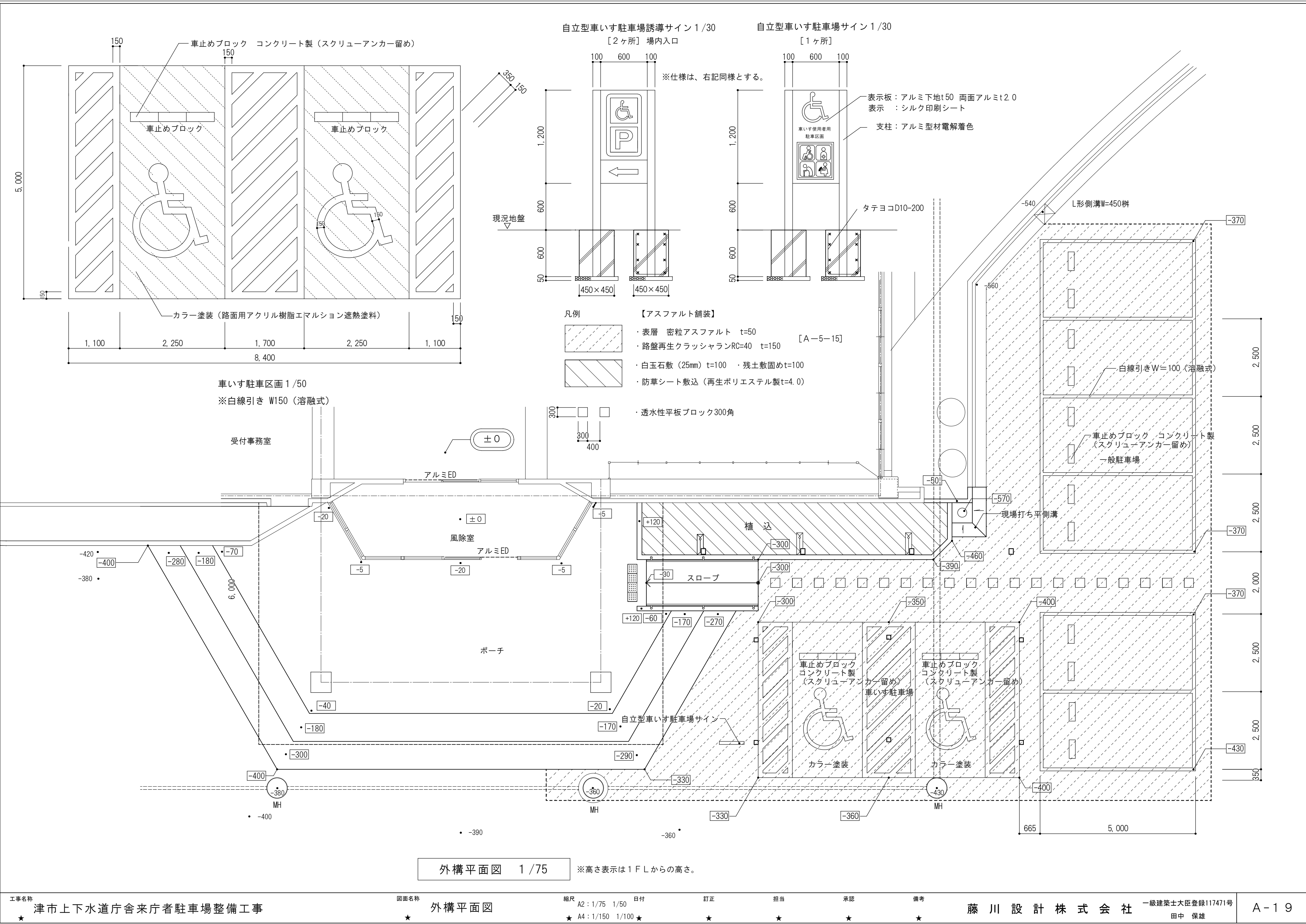
側断面図 1/50

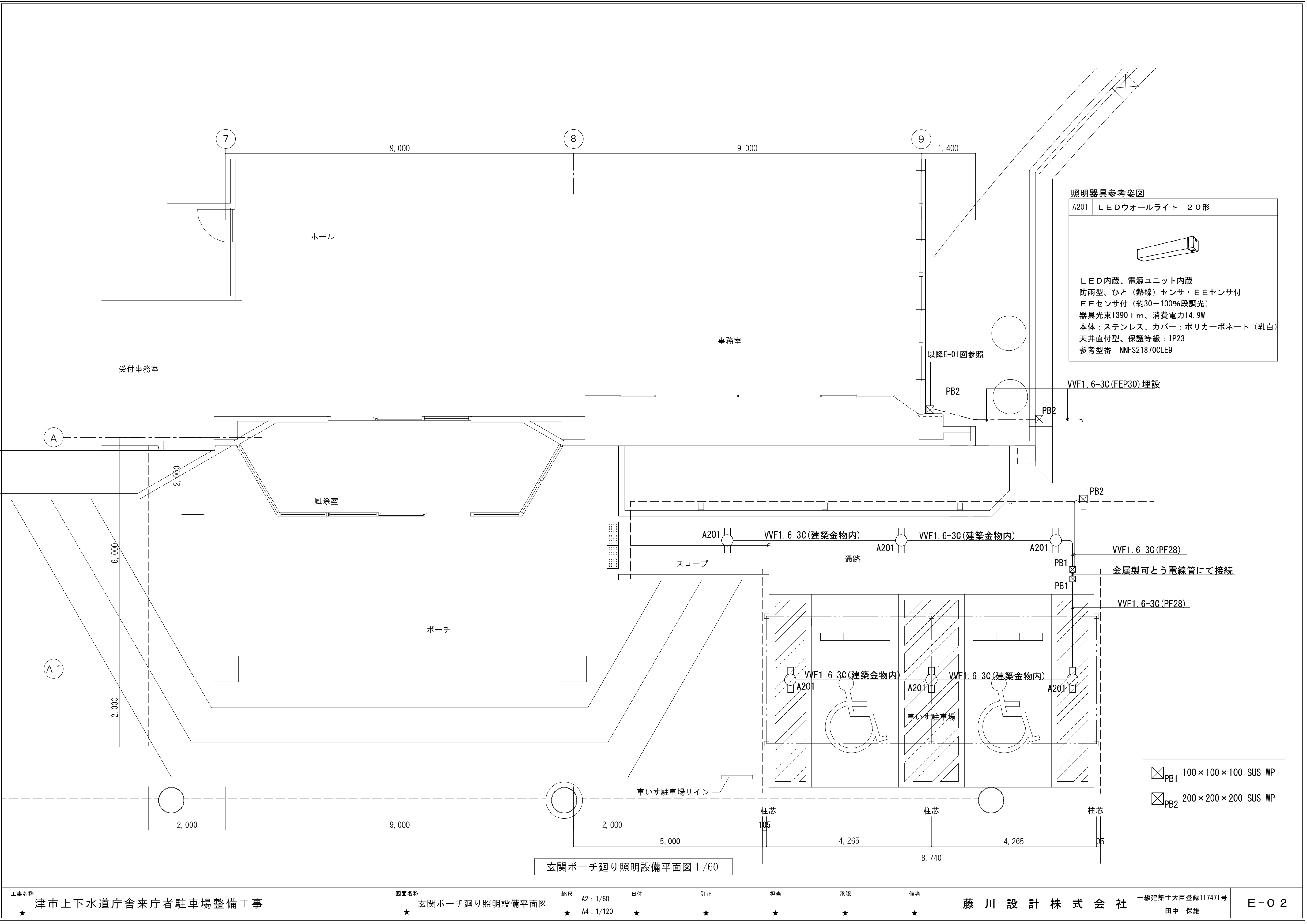
側断面図 1/50

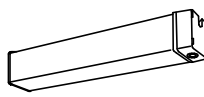
通路上屋詳細図 1/50



参考図







照明器具参考姿図		
A201	LEDウォールライト	200形
		
LED内蔵、電源ユニット内蔵 防雨型、ひと（熱線）センサ・EEセンサ付 EEセンサ付（約30～100%段調光） 器具光束1390lm、消費電力14.9W 本体：ステンレス、カバー：ポリカーボネート（乳白） 天井直付型、保護等級：IP23 参考型番 NNFS21870CLE9		

	PB1	100×100×100 SUS WP
	PB2	200×200×200 SUS WP

